

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号
特許第4293594号
(P4293594)

(45) 発行日 平成21年7月8日 (2009.7.8)

(24) 登録日 平成21年4月17日 (2009.4.17)

(51) Int.Cl.

F I

G O 6 Q 20/00 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

G O 7 F 7/12 (2006.01)

G O 7 F 7/08 (2006.01)

G O 6 F 17/60 4 O 2

A 6 3 F 7/02 3 2 8

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F

G O 7 F 7/08 B

G O 7 F 7/08 S

請求項の数 7 (全 31 頁)

(21) 出願番号	特願2003-111216 (P2003-111216)	(73) 特許権者	000144153
(22) 出願日	平成15年4月16日 (2003.4.16)		株式会社三共
(65) 公開番号	特開2004-318470 (P2004-318470A)		東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
(43) 公開日	平成16年11月11日 (2004.11.11)	(74) 代理人	100098729
審査請求日	平成18年3月20日 (2006.3.20)		弁理士 重信 和男
		(74) 代理人	100116757
			弁理士 清水 英雄
		(74) 代理人	100123216
			弁理士 高木 祐一
		(72) 発明者	戸崎 智弘
			群馬県桐生市境野町6丁目460番地 株
			式会社三共内
		審査官	田付 徳雄

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遊技用システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

クレジットカード会社に接続された遊技用記録媒体管理機関に接続され、当該クレジットカード会社には直接接続されていない予め管理登録された登録遊技場において会員登録した会員遊技者が遊技を実施するための遊技用システムであって、

前記登録遊技場において発行され、遊技に使用可能な遊技用価値の大きさを特定可能な遊技用価値特定情報が記録された遊技用記録媒体の管理を行う前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、前記会員登録者が所有するクレジットカードの利用可否を判定可能な利用可否情報を、当該クレジットカードを発行した前記クレジットカード会社より入手するためのクレジット情報入手手段と、

前記登録遊技場に設けられ、

該登録遊技場において前記会員登録者に対して発行される会員用記録媒体に記録される該会員用記録媒体を個々に特定可能な会員用記録媒体特定情報と、当該会員用記録媒体の所有者が所有するクレジットカードを個々に識別可能なクレジットカード識別情報と、当該会員用記録媒体を所有する会員遊技者が過去の遊技にて獲得することで払い戻し可能に所有する貯蓄遊技媒体数とを対応付けて記憶、管理する会員情報記憶管理手段と、

前記会員用記録媒体を受付け、該受付けた会員用記録媒体に記録されている前記会員用記録媒体特定情報に対応付けて前記会員情報記憶管理手段に記憶されている貯蓄遊技媒体数のうちの所定数の遊技媒体の払い戻しを実施する払戻手段と、

前記会員用記録媒体を受付け、該受付けた会員用記録媒体から前記会員用記録媒体特定情

報を読み取り、該読み取った会員用記録媒体特定情報を送信するための会員用記録媒体処理手段と、

前記会員用記録媒体処理手段から送信されてきた前記会員用記録媒体特定情報と前記会員情報記憶管理手段の記憶情報とに基づいて、前記会員用記録媒体処理手段にて受付けた会員用記録媒体の所有者が所有するクレジットカードのクレジットカード識別情報を特定し、該特定したクレジットカード識別情報と当該クレジットカードの利用確認を要求する旨の情報とを少なくとも含むクレジットカードの利用確認要求を、前記遊技用記録媒体管理機関に対して送信する利用確認要求送信手段と、

前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、

前記利用確認要求送信手段からの利用確認要求の受信に基づいて、当該利用確認要求に含まれるクレジットカード識別情報から特定されるクレジットカードの利用可否を、前記クレジットカード情報入手手段により入手した当該クレジットカードの利用可否情報から特定して確認するクレジットカード利用可否確認手段と、

該クレジットカード利用可否確認手段にて確認されたクレジットカードの利用可否を特定可能な利用確認結果情報を前記登録遊技場に送信する利用確認結果情報送信手段と、

前記登録遊技場に設けられ、前記利用確認結果情報送信手段から送信されてくる利用確認結果情報から特定されるクレジットカードの利用可否が利用可能であることに基づいて、所定金額に相当する遊技に使用可能な遊技用価値の大きさを特定可能な遊技用価値特定情報が記録された遊技用記録媒体を発行する遊技用記録媒体発行手段と、

を備えることを特徴とする遊技用システム。

【請求項 2】

前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、前記クレジットカード情報入手手段によって予めクレジットカード会社より入手した前記利用可否情報を記憶するとともに、該利用可否情報を更新、管理するための利用可否情報記憶管理手段を備え、

前記クレジットカード利用可否確認手段は、前記利用可否情報記憶管理手段に記憶されている利用可否情報に基づいて利用可否を特定、確認する請求項 1 に記載の遊技用システム。

【請求項 3】

前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、クレジットカードの利用可能額をクレジットカード会社より入手する利用可能額入手手段と、前記クレジットカード利用可否確認手段における確認結果が利用可であるときに、前記利用可能額入手手段によって入手した利用可能額を特定可能な利用可能額情報を前記登録遊技場に送信するための利用可能額情報送信手段と、を備え、

前記遊技用記録媒体発行手段は、前記利用可能額情報送信手段から送信されてきた利用可能額情報から特定される利用可能額の範囲内の所定額に相当する大きさの遊技用価値を特定可能な遊技用価値特定情報が記録された遊技用記録媒体を発行する請求項 1 または 2 に記載の遊技用システム。

【請求項 4】

前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、

前記遊技用記録媒体発行手段において遊技用記録媒体の発行に供された利用金額を各クレジットカード毎に集計するための利用金額集計手段と、該利用金額集計手段にて集計された所定期間における合計利用金額と該所定期間において会員遊技者が利用可能として設定された発行利用限度額とから、各時点における発行利用可能額を特定する発行利用可能額特定手段と、を備え、

前記利用可能額情報送信手段は、前記発行利用可能額特定手段にて特定した発行利用可能額がクレジットカード会社より入手した利用可能額以下であるときには該発行利用可能額を特定可能な利用可能額情報を前記登録遊技場に送信し、前記発行利用可能額特定手段にて特定した発行利用可能額がクレジットカード会社より入手した利用可能額を上回るときには該利用可能額を特定可能な利用可能額情報を前記登録遊技場に送信する請求項 3 に記載の遊技用システム。

【請求項 5】

前記遊技用記録媒体発行手段は、前記利用可能額情報送信手段より送信されてくる利用可能額情報から特定される利用可能額を報知する利用可能額報知手段を含む請求項 3 または 4 に記載の遊技用システム。

【請求項 6】

前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、前記遊技用記録媒体発行手段において遊技用記録媒体の発行に供された利用金額と該遊技用記録媒体の発行に供された会員用記録媒体の会員用記録媒体特定情報から特定されるクレジットカード識別情報とを含む利用情報を収集するための利用情報収集手段と、該利用情報収集手段にて収集された利用情報をクレジットカード会社へ送信するための利用情報送信手段と、を備える請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の遊技用システム。

10

【請求項 7】

前記登録遊技場に設けられ、
該登録遊技場にて発行済みの会員用記録媒体或いは新たに発行しようとする会員用記録媒体に記録された前記会員用記録媒体特定情報と、前記発行済みの会員用記録媒体の所有者或いは新たに発行しようとする会員用記録媒体の所有予定者が所有するクレジットカードのクレジットカード識別情報とを入力するための登録情報入力手段と、
該登録情報入力手段から入力されたクレジットカード識別情報とクレジットカード識別情報から特定されるクレジットカードの利用登録の可否確認を要求する旨の情報とを少なくとも含む利用登録可否確認要求を前記遊技用記録媒体管理機関に送信するための利用登録可否確認要求送信手段と、
前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、
前記利用登録可否確認要求送信手段からの利用登録可否確認要求の受信に基づいて、該受信した利用登録可否確認要求に含まれるクレジットカード識別情報と該クレジットカード識別情報から特定されるクレジットカードの認証を要求する旨の情報を含む認証要求を、当該クレジットカードを発行したクレジットカード会社に対して送信する認証要求送信手段と、
該認証要求送信手段からの認証要求の送信に基づいてクレジットカード会社から返信されてくる認証結果に基づいて当該クレジットカードの認証可否を特定し、該特定した認証可否が認証可であるときに、当該クレジットカードの利用登録を可能とする旨を特定可能な利用登録確認情報を、前記利用登録可否確認要求を送信してきた登録遊技場に対して返信する利用登録確認情報送信手段と、
前記登録遊技場に設けられ、前記利用登録確認情報送信手段からの利用登録確認情報の受信に基づいて、前記登録情報入力手段から入力された会員用記録媒体特定情報とクレジットカード識別情報とを対応付けて前記会員情報記憶管理手段に新たに登録させるための新規会員情報登録手段と、
を備える請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の遊技用システム。

20

30

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術の分野】

本発明は、遊技場においてクレジットカードを用いて遊技を実施することのできる遊技用システムに関する。

40

【0002】

【従来の技術】

近年、遊技場にあっては、顧客が現金の引き出しにおける不便を解消するとともに、これら現金の引き出しにおいて遊技機が占拠された状態で離席が実施されることに伴う稼働率の低下を防止する等のことを目的として、クレジットカードを用いて遊技媒体であるパチンコ球を貸し出すものがあった（特許文献 1）。

【0003】

また、従来の遊技場において使用されているプリペイドカード等の遊技用記録媒体では、正規に発行されたものでも、拾ったものでも遊技に使用できてしまうことから、これらの

50

不都合を解消するためにクレジットカードを用いて遊技媒体であるパチンコ球を貸し出すものがあった（特許文献２）。

【０００４】

【特許文献１】

特開平１０－５４１５号公報（第８頁～第１１頁、第１４図）

【特許文献２】

特開２００１－３１００７６号公報（第７頁～第８頁、第２図）

【０００５】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、これら前記した遊技用管理システムや遊技媒体貸出機構では、利用カードを発行するため或いは玉貸を受けるためにクレジットカードを利用する毎に当該クレジットカードを発行したクレジットカード会社にアクセスして利用確認を行うために、各遊技場とクレジットカード会社を個々に接続しておく必要があり、システムの構築に際して多大な費用が必要であるという問題があった。

【０００６】

よって、本発明は上記した問題点に着目してなされたもので、クレジットカードを使用する場合の利用確認を、各遊技場とカード会社とを個々に接続することなく実施できるようにすることで、システムの構築に際して従来のような多大な費用を必要としない遊技用システムを提供することを目的としている。

【０００７】

【課題を解決するための手段】

前記した問題を解決するために、本発明の遊技用システムは、クレジットカード会社に接続された遊技用記録媒体管理機関に接続され、当該クレジットカード会社には直接接続されていない予め管理登録された登録遊技場において会員登録した会員遊技者が遊技を実施するための遊技用システムであって、

前記登録遊技場において発行され、遊技に使用可能な遊技用価値の大きさを特定可能な遊技用価値特定情報が記録された遊技用記録媒体の管理を行う前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、前記会員登録者が所有するクレジットカードの利用可否を判定可能な利用可否情報を、当該クレジットカードを発行した前記クレジットカード会社より入手するためのクレジット情報入手手段と、

前記登録遊技場に設けられ、

該登録遊技場において前記会員登録者に対して発行される会員用記録媒体に記録される該会員用記録媒体を個々に特定可能な会員用記録媒体特定情報と、当該会員用記録媒体の所有者が所有するクレジットカードを個々に識別可能なクレジットカード識別情報と、当該会員用記録媒体を所有する会員遊技者が過去の遊技にて獲得することで払い戻し可能に所有する貯蓄遊技媒体数とを対応付けて記憶、管理する会員情報記憶管理手段と、

前記会員用記録媒体を受付け、該受付けた会員用記録媒体に記録されている前記会員用記録媒体特定情報に対応付けて前記会員情報記憶管理手段に記憶されている貯蓄遊技媒体数のうちの所定数の遊技媒体の払い戻しを実施する払戻手段と、

前記会員用記録媒体を受付け、該受付けた会員用記録媒体から前記会員用記録媒体特定情報を読み取り、該読み取った会員用記録媒体特定情報を送信するための会員用記録媒体処理手段と、

前記会員用記録媒体処理手段から送信されてきた前記会員用記録媒体特定情報と前記会員情報記憶管理手段の記憶情報とに基づいて、前記会員用記録媒体処理手段にて受付けた会員用記録媒体の所有者が所有するクレジットカードのクレジットカード識別情報を特定し、該特定したクレジットカード識別情報と当該クレジットカードの利用確認を要求する旨の情報とを少なくとも含むクレジットカードの利用確認要求を、前記遊技用記録媒体管理機関に対して送信する利用確認要求送信手段と、

前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、

前記利用確認要求送信手段からの利用確認要求の受信に基づいて、当該利用確認要求に含

10

20

30

40

50

まれるクレジットカード識別情報から特定されるクレジットカードの利用可否を、前記クレジットカード情報入手手段により入手した当該クレジットカードの利用可否情報から特定して確認するクレジットカード利用可否確認手段と、

該クレジットカード利用可否確認手段にて確認されたクレジットカードの利用可否を特定可能な利用確認結果情報を前記登録遊技場に送信する利用確認結果情報送信手段と、

前記登録遊技場に設けられ、前記利用確認結果情報送信手段から送信されてくる利用確認結果情報から特定されるクレジットカードの利用可否が利用可能であることに基づいて、所定金額に相当する遊技に使用可能な遊技用価値の大きさを特定可能な遊技用価値特定情報が記録された遊技用記録媒体を発行する遊技用記録媒体発行手段と、

を備えることを特徴としている。

10

この特徴によれば、遊技用記録媒体の発行をクレジットカードにて実施する場合において、該クレジットカードの利用可否が、前記クレジットカード情報入手手段によりクレジットカード会社より入手した当該クレジットカードの利用可否情報に基づいて、遊技用記録媒体管理機関に設けられたクレジットカード利用可否確認手段にて特定されて、該利用可否を特定可能な利用確認結果情報が遊技用記録媒体を発行する各登録遊技場に送信され、該利用確認結果情報から特定されるクレジットカードの利用可否が利用可能である場合に遊技用記録媒体が発行されることで、これらクレジットカードの利用確認が、既に各登録遊技場と接続されている遊技用記録媒体管理機関を通じて実施されるようになるため、システムの構築に際して従来のような多大な費用を必要とすることがない。

【0008】

20

本発明の遊技用システムは、前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、前記クレジットカード情報入手手段によって予めクレジットカード会社より入手した前記利用可否情報を記憶するとともに、該利用可否情報を更新、管理するための利用可否情報記憶管理手段を備え、前記クレジットカード利用可否確認手段は、前記利用可否情報記憶管理手段に記憶されている利用可否情報に基づいて利用可否を特定、確認することが好ましい。

このようにすれば、利用確認要求の受信毎に利用可否情報をクレジットカード会社より入手する場合に比較して、クレジットカードの利用可否の確認を迅速化することができる。

【0009】

本発明の遊技用システムは、前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、クレジットカードの利用可能額をクレジットカード会社より入手する利用可能額入手手段と、前記クレジットカード利用可否確認手段における確認結果が利用可であるときに、前記利用可能額入手手段によって入手した利用可能額を特定可能な利用可能額情報を前記登録遊技場に送信するための利用可能額情報送信手段と、を備え、

30

前記遊技用記録媒体発行手段は、前記利用可能額情報送信手段から送信されてきた利用可能額情報から特定される利用可能額の範囲内の所定額に相当する大きさの遊技用価値を特定可能な遊技用価値特定情報が記録された遊技用記録媒体を発行することが好ましい。

このようにすれば、各クレジットカードの利用可能額の範囲内の所定額に相当する遊技用記録媒体しか発行されないため、クレジットカードによる遊技用記録媒体の過度の発行利用を抑止することができる。

【0010】

40

本発明の遊技用システムは、前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、

前記遊技用記録媒体発行手段において遊技用記録媒体の発行に供された利用金額を各クレジットカード毎に集計するための利用金額集計手段と、該利用金額集計手段にて集計された所定期間における合計利用金額と該所定期間において会員遊技者が利用可能として設定された発行利用限度額とから、各時点における発行利用可能額を特定する発行利用可能額特定手段と、を備え、

前記利用可能額情報送信手段は、前記利用可能額特定手段にて特定した発行利用可能額がクレジットカード会社より入手した利用可能額以下であるときには該発行利用可能額を特定可能な利用可能額情報を前記登録遊技場に送信し、前記利用可能額特定手段にて特定した発行利用可能額がクレジットカード会社より入手した利用可能額を上回るときには該利

50

用可能額を特定可能な利用可能額情報を前記登録遊技場に送信することが好ましい。
このようにすれば、予め定められた所定期間において会員遊技者が利用可能な発行利用限度額を設定しておくことで、該発行利用限度額と所定期間における合計利用金額とから特定される発行利用可能額が、前記クレジットカード会社より入手した利用可能額以下である場合には、該発行利用可能額を特定可能な利用可能額情報が遊技場に送信されて、該発行利用可能額の範囲内の所定額に相当する遊技用記録媒体しか発行されないため、遊技用記録媒体管理機関はクレジットカードの利用可能額とは個別にクレジットカードによる遊技用記録媒体の過度の発行利用を抑止することができる。

【0011】

本発明の遊技用システムは、前記遊技用記録媒体発行手段は、前記利用可能額情報送信手段より送信されてくる利用可能額情報から特定される利用可能額を報知する利用可能額報知手段を含むことが好ましい。

10

このようにすれば、遊技者は、自分がクレジットを利用して遊技用記録媒体の発行に使用できる利用可能額を確認することができる。

【0012】

本発明の遊技用システムは、前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、前記遊技用記録媒体発行手段において遊技用記録媒体の発行に供された利用金額と該遊技用記録媒体の発行に供された会員用記録媒体の会員用記録媒体特定情報から特定されるクレジットカード識別情報とを含む利用情報を収集するための利用情報収集手段と、該利用情報収集手段にて収集された利用情報をクレジットカード会社に送信するための利用情報送信手段と、を備

20

えることが好ましい。
このようにすれば、クレジットカード会社に利用金額とクレジットカード識別情報とを含む利用情報が遊技用記録媒体管理機関を通じてクレジットカード会社に送信されるようになるため、これら決済のための利用情報の収集のために、各遊技場とクレジットカード会社とを個々に接続する必要がなく、システムの構築費用をより低減することができる。

【0013】

本発明の遊技用システムは、前記登録遊技場に設けられ、
該登録遊技場にて発行済みの会員用記録媒体或いは新たに発行しようとする会員用記録媒体に記録された前記会員用記録媒体特定情報と、前記発行済みの会員用記録媒体の所有者或いは新たに発行しようとする会員用記録媒体の所有予定者が所有するクレジットカード

30

のクレジットカード識別情報とを入力するための登録情報入力手段と、
該登録情報入力手段から入力されたクレジットカード識別情報とクレジットカード識別情報から特定されるクレジットカードの利用登録の可否確認を要求する旨の情報とを少なくとも含む利用登録可否確認要求を前記遊技用記録媒体管理機関に送信するための利用登録可否確認要求送信手段と、
前記遊技用記録媒体管理機関に設けられ、
前記利用登録可否確認要求送信手段からの利用登録可否確認要求の受信に基づいて、該受信した利用登録可否確認要求に含まれるクレジットカード識別情報と該クレジットカード識別情報から特定されるクレジットカードの認証を要求する旨の情報を含む認証要求を、
当該クレジットカードを発行したクレジットカード会社に対して送信する認証要求送信手

40

段と、
該認証要求送信手段からの認証要求の送信に基づいてクレジットカード会社から返信されてくる認証結果に基づいて当該クレジットカードの認証可否を特定し、該特定した認証可否が認証可であるときに、当該クレジットカードの利用登録を可能とする旨を特定可能な利用登録確認情報を、前記利用登録可否確認要求を送信してきた登録遊技場に対して返信する利用登録確認情報送信手段と、

前記登録遊技場に設けられ、前記利用登録確認情報送信手段からの利用登録確認情報の受信に基づいて、前記登録情報入力手段から入力された会員用記録媒体特定情報とクレジットカード識別情報とを対応付けて前記会員情報記憶管理手段に新たに登録させるための新規会員情報登録手段と、

50

を備えることが好ましい。

このようにすれば、新たなクレジットカードの利用を希望する会員の登録における認証確認も、遊技用記録媒体管理機関を通じて実施されるようになるため、これら新たな利用登録に伴う認証確認のために、各遊技場とクレジットカード会社とを個々に接続する必要がなく、システムの構築費用をより低減することができる。

【 0 0 1 4 】

【 発明の実施の形態 】

図 1 は本発明が適用された本実施例の遊技用システムの構成を示す図であり、この遊技用システムは、遊技場において複数配置された遊技島に並設される遊技機としてのカードリーダー式パチンコ機（以下パチンコ機）2 に対して 1 対 1 に設置されるカードユニット 3 と、遊技場の所定箇所に設置され、ビジターカードの発行を行うカード発行機 2 3 と、遊技場の所定箇所に設置され、該遊技場にて発行される遊技用記録媒体であるビジターカードと、会員用記録媒体である会員カードに関する情報を管理するためのシステムコントローラ 1 0 0 と、予め管理登録されたこれらの各遊技場において発行されるビジターカードの管理を行う遊技用記録媒体管理機関であるプリペイドカード管理会社に設置された管理サーバ 1 2 とから主に構成されており、システムコントローラ 1 0 0、カード発行機 2 3、カードユニット 3 とはハブ（HUB）8'（図 3 参照）並びに通信ケーブル 8 を介してデータ通信可能に接続されているとともに、システムコントローラ 1 0 0 と管理サーバ 1 2 とは通信回線網 1 1 を介して双方向のデータ通信可能に接続されている。

【 0 0 1 5 】

また、プリペイドカード管理会社に設置された管理サーバ 1 2 は、図 1 に示すように、予め管理登録された各登録遊技場の会員カードを所持する会員遊技者が所有するクレジットカードを発行している各クレジットカード会社 A、B、C... 或いは各クレジットカード会社からクレジットカードの管理を委託されているデータセンタ等の管理機関と双方向のデータ通信可能に接続されていて、これら各クレジットカード会社 A、B、C... 或いはデータセンタ等の管理機関から、会員遊技者が所有するクレジットカードの利用残額の情報を入手できるようになっている。

【 0 0 1 6 】

尚、各クレジットカード会社 A、B、C... 或いはデータセンタ等の管理機関は、銀行等の金融機関に接続されていて、管理サーバ 1 2 から送信されてくる前記管理登録された登録遊技場においてビジターカードの発行に使用されたクレジットの利用金額（発行金額）とクレジットカードのクレジットカード ID との情報を含む利用情報の受信に基づいて、該利用情報に含まれる利用金額（発行金額）をクレジットカード所有者の銀行口座から引き落とす決済処理を金融機関との間において実施できるようになっている。

【 0 0 1 7 】

初めに、本実施例にて用いた会員用記録媒体である会員カードについて説明すると、本実施例では、これら会員カード用の記録媒体として、カードユニット 3 内に設けられている後述のカードリーダーライタ 3 2 7 やカード発行機 2 3 に設けられているカードリーダー 4 1 3 やシステムコントローラ 1 0 0 に接続されているカードリーダー 1 1 5 と非接触にてデータ通信を行うことが可能な非接触式 IC カードを使用しており、その内部メモリには、予め会員登録をした会員遊技者に対して、各会員遊技者を個別に特定可能とするために各会員遊技者に固有に付与された会員 ID と、各会員カードを個々に特定可能とするために、各会員カードに固有に付与された会員用記録媒体特定情報である会員カード ID とが書き換え不可に記憶されている。

【 0 0 1 8 】

また、カードユニット 3 またはカード発行機 2 3 にて発行されるビジターカードについて説明すると、このビジターカードにも会員カードと同様に非接触式 IC カードが使用されており、その内部メモリには、各ビジターカードに残存する遊技用価値である度数の大きさを特定可能な遊技用価値特定情報であり、且つ各ビジターカードを個別に識別可能とするためのビジターカード ID 等が書き換え不可に記録されており、前記カードリーダーライ

タ 3 2 7 並びにカード発行機 2 3 に設けられているカードリーダー 4 1 5 により、パチンコ玉の貸出に使用される遊技用価値である度数等の情報が書き換え可能に記録される。

【 0 0 1 9 】

次いで、本実施例に使用したカードユニット 3 について簡潔に説明すると、このカードユニット 3 は、前述のように遊技島に並設される遊技機としてのパチンコ機 2 に 1 対 1 に対応して設置されている。

【 0 0 2 0 】

カードユニット 3 の前面には、図 2 に示すように、各種表示部や操作ボタン、紙幣挿入口 3 0 2、硬貨投入口 3 0 3、硬貨返却口 3 1 3、カード挿入口 3 1 9、ビジターカード装着口 3 1 8 が設けられている。

10

【 0 0 2 1 】

カードユニット 3 の前面に設けられる表示部のうち、多機能表示部 3 0 1 は、内部に設けられた多機能 L E D 3 0 1 a の発光態様によりカードユニット 3 の動作状況等が報知される。

【 0 0 2 2 】

また、カードユニット 3 の前面に設けられた表示部のうち、変更可能表示部 3 0 5 は、後述する貸出処理における貸出単位（1 回の貸出操作で使用される度数の大きさ）の変更が可能である場合に、その内部に設けられた変更可能 L E D 3 0 5 a（図 3 参照）が点灯する。貸出単位表示部 3 0 7 は、前述した貸出単位が内蔵された貸出単位表示器 3 0 7 a（図 3 参照）により表示される表示部であり、度数表示部 3 0 9 は、ビジターカードから読み出された度数やエラーコード等が内蔵された度数表示器 3 0 9 a（図 3 参照）により表示される表示部である。方向指示表示部 3 1 1 は、対応する遊技機の連結方向を示す表示部であり、遊技機と接続されている場合に内部に設けられた方向指示 L E D 3 1 1 a（図 3 参照）が点灯する。挿入中表示部 3 1 2 は、前記カード挿入口 3 1 9 に会員カードが挿入中である場合に内部に設けられた挿入中 L E D 3 1 2 a（図 3 参照）が点灯する。会員カード用表示部 3 1 4 は、受付中の会員カードから特定される貯蓄玉数に基づく再プレイ可能回数等の情報が、内設された会員カード用表示器 3 1 4 a（図 3 参照）により表示される表示部である。

20

【 0 0 2 3 】

また、カードユニット 3 の前面に設けられたボタンのうち、硬貨返却ボタン 3 0 4 は、硬貨投入口 3 0 3 から投入された硬貨が詰まった場合等において、硬貨を返却させる際に押圧するボタンである。貸出単位変更ボタン 3 0 6 は、貸出単位を変更する際に押圧するボタンである。端数ボタン 3 0 8 は、度数表示部 3 0 9 の表示内容を変更表示させる際に押圧するボタンである。テンキー 3 1 5 は、暗証番号等の入力を行う際に操作するキーである。発行ボタン 3 1 6 は、クレジットを使用してビジターカードを発行させる際に押圧するボタンである。再プレイボタン 3 1 7 は、貯蓄玉数の払戻を実施する際に押圧するボタンである。

30

【 0 0 2 4 】

また、カード挿入口 3 1 9 とビジターカード装着口 3 1 8 とは、遊技者から見て左右に並設配置されている。カード挿入口 3 1 9 は、内蔵されるカードリーダー 3 2 7（図 3 参照）の第 1 のカードスロット（図示略）に連設されており、このカード挿入口 3 1 9 を介して会員カード或いはカード発行機 2 3 にて発行されたビジターカードを第 1 のカードスロットに挿入可能とされるとともに、該第 1 のカードスロットに挿入されて使用済みとなったビジターカードを回収するための回収機構を有しており、該回収機構により回収されたビジターカードは再度発行に繰返し使用される。

40

【 0 0 2 5 】

また、ビジターカード装着口 3 1 8 は、カードリーダー 3 2 7 のビジターカード専用収容室（図示略）に連設されており、このビジターカード装着口 3 1 8 を介してビジターカードをビジターカード専用収容室に装着可能とされている。

50

【 0 0 2 6 】

また、ビジターカード専用収容室にビジターカードが装着された際には、この装着されたビジターカードの先端がビジターカード装着口 3 1 8 から突出する態様にて装着されるようになる。また、このビジターカード装着口 3 1 8 の前面には、透明カバー部材 3 1 8 ' が取付けられるようになっており、これによりカードリーダーライタ 3 2 7 に装着されたビジターカードが、透明カバー部材 3 1 8 ' を通して視認できるとともに、透明カバー部材 3 1 8 ' により装着されたビジターカードの抜き取りができない状態とされる。

【 0 0 2 7 】

図 3 は、カードユニット 3 の構成を示すブロック図である。カードユニット 3 は、会員用記録媒体処理手段を成すカードリーダーライタ 3 2 7 と、制御ユニット 3 2 8 と、から主に構成されている。

10

【 0 0 2 8 】

本実施例のカードリーダーライタ 3 2 7 は、前述したカード挿入口 3 1 9 から挿入された会員カードやビジターカード、並びにビジターカード装着口 3 1 8 に装着されたビジターカードの記録情報の読み出し並びに書き込みを行うとともに、HUB 8 ' を介してシステムコントローラ 1 0 0 とデータ通信可能に接続されており、前記カード挿入口 3 1 9 から挿入されたカードがビジターカードである場合には、該ビジターカードに記録されている度数の情報やビジターカード ID がカードリーダーライタ 3 2 7 にて読み取られてシステムコントローラ 1 0 0 に送信されることで、該ビジターカードの照合がシステムコントローラ 1 0 0 にて実施されるとともに、挿入されたカードが会員カードである場合には、該会員カードに記録された会員 ID や会員カード ID が読み取られてシステムコントローラ 1 0 0 に送信されることで、システムコントローラ 1 0 0 にて貯蓄玉数の特定や該会員遊技者が所有しているクレジットカードのクレジットカード ID や使用期限の特定が実施される。

20

【 0 0 2 9 】

制御ユニット 3 2 8 には、前述した各種 LED や表示器、スイッチ等の各種電気部品や紙幣識別ユニット 3 2 2、硬貨識別ユニット 3 2 4、が接続されている。

【 0 0 3 0 】

制御ユニット 3 2 8 に接続された各種スイッチのうち、貸出単位変更スイッチ 3 0 6 a は、貸出単位変更ボタン 3 0 6 の操作を検知するスイッチであり、端数スイッチ 3 0 8 a は、端数ボタン 3 0 8 の操作を検知するスイッチであり、テンキースイッチ 3 1 5 a は、テンキーの操作を検知するスイッチであり、発行スイッチ 3 1 6 a は、発行ボタン 3 1 6 の操作を検知するスイッチであり、再プレイスイッチ 3 1 7 a は、再プレイボタン 3 1 7 の操作を検知するスイッチである。

30

【 0 0 3 1 】

また、制御ユニット 3 2 8 には、特に図示しないが、接続されたパチンコ機 2 に設けられる貸出ボタン（パチンコ玉の貸出を行う際に操作されるボタン）や返却ボタン（受け中の会員カードを返却させる際に操作されるボタン）の操作を検知する貸出スイッチや返却スイッチが接続されている。

【 0 0 3 2 】

本実施例において制御ユニット 3 2 8 に接続された紙幣識別ユニット 3 2 2 は、紙幣挿入口 3 0 2 に投入された紙幣を取り込んでその真贋や紙幣種別の識別を行う。また、硬貨識別ユニット 3 2 4 は、硬貨投入口 3 0 3 より投入された硬貨の真贋並びに硬貨種別の識別を行う。

40

【 0 0 3 3 】

制御ユニット 3 2 8 に接続された各種 LED や表示器は、制御ユニット 3 2 8 により制御される。また、制御ユニット 3 2 8 は、各種スイッチの検出信号や、紙幣識別ユニット 3 2 2 や硬貨識別ユニット 3 2 4 による識別信号の出力を受けて各種の制御を行う。

【 0 0 3 4 】

また、制御ユニット 3 2 8 は、対応するパチンコ機 2 と接続されており、貸出処理に伴う

50

各種の信号の授受が可能とされているとともに、前述したカードリーダーライター 3 2 7 とデータ通信可能に接続されて各種コマンドの送受が実施可能とされている。

【 0 0 3 5 】

本実施例のカードユニット 3 は、カード挿入口 3 1 9 に挿入されたビジターカードの使用の可 / 不可を判別する受付処理と、この受付処理において受け付けられたビジターカードより読み出された度数を使用して、対応するパチンコ機 2 に対してパチンコ玉の貸出を実施させる貸出処理と、カード挿入口 3 1 9 に会員カードが受付中である場合に、該会員カードに記録された会員カード ID からシステムコントローラ 1 0 0 において特定されるクレジットカード ID 並びに有効期限に基づいて、クレジットを使用して所定金額である 1 0 0 0 円に相当する 1 0 度数をビジターカード装着口 3 1 8 に装着されているビジターカードに記録した後、この記録した度数の全てを使用して対応するパチンコ機 2 に対してパチンコ玉の貸出を実施させるクレジット発行貸出処理や、前記カード挿入口 3 1 9 に会員カードやビジターカードが受け付け中でない状況において低額紙幣 (1 0 0 0 円紙幣) または硬貨 (1 0 0 円硬貨、5 0 0 円硬貨) が挿入または投入されて識別された場合に、この識別された金額に相当する度数をビジターカード装着口 3 1 8 に装着されているビジターカードに記録した後、この記録した度数の全てを使用して対応するパチンコ機 2 に対してパチンコ玉の貸出を実施させる現金発行貸出処理や、対応するパチンコ機 2 に対し、以前の遊技にて貯蓄した貯蓄玉数のうちの所定数のパチンコ玉の払い戻しを実施させる払戻処理を行うようになっている。

【 0 0 3 6 】

次いで、本実施例の遊技用システムを構成するカード発行機 2 3 を図 4 ~ 図 6 に基づいて説明すると、該カード発行機 2 3 の外観形状は図 4 に示すようになっており、その前面にビジターカードの発行が可能であることを点灯することにより利用者に報知するための動作ランプ 4 0 1 と、会員カードを挿入するための会員カード挿入口 4 0 2 と、該会員カード挿入口 4 0 2 からの会員カードの返却を点滅点灯により報知するための会員カードインジケータ 4 0 3 と、硬貨を投入するための硬貨投入口 4 1 0 と、紙幣を挿入するための紙幣挿入口 4 1 1 と、該紙幣挿入口 4 1 1 からの返却紙幣或いは釣銭紙幣の排出を点滅点灯により報知する紙幣インジケータ 4 1 2 と、ビジターカードが排出されるカード発行口 4 0 6 と、該カード発行口 4 0 6 からビジターカードが排出されていることを点滅点灯により報知する発行インジケータ 4 0 7 と、クレジットによるビジターカードの発行において発行されるレシートが排出されるレシート排出口 4 0 8 と、該レシート排出口 4 0 8 からレシートが排出されていることを点滅点灯により報知するレシートインジケータ 4 0 9 と、該カード発行機 2 3 の操作ガイドや会員カードの挿入時においてビジターカードの発行に使用可能な利用可能額等が表示される表示部 4 0 4 及び利用者が操作可能な入力部 4 0 5 からなる操作部 4 2 7 と、が設けられている。

【 0 0 3 7 】

前記操作部 4 2 7 は、図 4 に示すように、該カード発行機 2 3 の前面に形成された凹部 4 2 6 の底面に設けられており、入力部 4 0 5 からの暗証番号の入力状況が外方から不用意に見られないようになっている。

【 0 0 3 8 】

また、該操作部 4 2 7 の入力部 4 0 5 には、図 5 に示すように、ビジターカードの購入金額を選択する金額入力キー 4 2 2 (1 0 0 0 円、3 0 0 0 円、5 0 0 0 円、1 0 0 0 0 円) と、暗証番号を入力するテンキー 4 2 3 (0 ~ 9) と、ビジターカードの発行を中止する際に操作されるキャンセルキー 4 2 4 と、前記テンキー 4 2 3 にて入力した暗証番号を決定する決定キー 4 2 5 とが設けられている。

【 0 0 3 9 】

このカード発行機 2 3 の構成について説明すると、図 6 のブロック図に示すように、該カード発行機 2 3 には、前記動作ランプ 4 0 1 や、会員カードインジケータ 4 0 3 や、表示部 4 0 4 に内設されて操作案内や利用可能額等の情報を表示する表示パネル 4 0 4 a や、入力部 4 0 5 に設けられた金額入力キー 4 2 2 やテンキー 4 2 3、キャンセルキー 4 2 4

、決定キー４２５に対応する各スイッチが設けられたスイッチモジュール４０５ａや、発行インジケータ４０７や、レシートインジケータ４０９や、紙幣インジケータ４１２に加えて、前記会員カード挿入口４０２に連設され、挿入される会員カードより該会員カードに記録されている会員ＩＤや会員カードＩＤの読み取りを実施するカードリーダー４１３と、硬貨投入口４１０に連設されて投入された硬貨の真贋と硬貨金種の識別を行う硬貨識別ユニット４２８と、紙幣挿入口４１１に連設されて投入された紙幣を取り込んでその真贋や紙幣種別の識別を行う紙幣識別ユニット４１６と、前記カード発行口４０６に連設され、発行するビジターカードのビジターカードＩＤを読み取るとともに、発行金額に相当する大きさの度数データの書込を実施するカードリーダーライタ４１５と、前記レシート排出口４０８に連設され、内部に収容されたプリント紙にビジターカードの発行に供された金額である発行金額等が記載されるレシートを印刷して前記レシート排出口４０８に排出するプリンタ４１４と、前記表示部４０４の表示動作の制御を行う表示ドライバ４１７と、後述するマイクロプロセッシングユニット（ＭＰＵ）４２０の制御内容が記述された制御プログラム等を記憶する記憶部４１８や、前記システムコントローラ１００とのデータ通信を行うための通信部４２９や、各種の制御処理を実施するマイクロプロセッシングユニット（ＭＰＵ）４２０とを搭載された制御ユニット４２１と、が設けられ、該制御ユニット４２１は前記した各部に図６に示すように接続されて、その動作や点灯・消灯、表示内容等が制御ユニット４２１により制御されるようになっており、前記マイクロプロセッシングユニット（ＭＰＵ）４２０が実施する制御プログラムに基づいてカード発行機２３においては、各種スイッチの検出信号や、紙幣識別ユニット４１６や硬貨識別ユニット４２８による識別信号の出力を受けて、硬貨や紙幣の現金によるビジターカードの購入が実施可能とされている。

10

20

【００４０】

また、本実施例のカード発行機２３は、前記通信部４２９並びに通信ケーブル８を通じてシステムコントローラ１００に接続されており、該システムコントローラ１００に対して前記カードリーダー４１３にて読み取った会員カードの会員ＩＤや会員カードＩＤを含む発行許諾要求を送信するとともに（図１２参照）、該発行許諾要求の送信に基づいてシステムコントローラ１００から送信されてくる発行許諾としての利用可能額が前記表示部４０４に表示されるように、前記制御ユニット４２１により制御されるとともに、これら利用可能額の範囲内の所定額に相当するビジターカードを発行するように制御されることで、会員カードを使用してのクレジット利用によるビジターカードの購入が可能とされている。

30

【００４１】

ここで、本実施例に用いたシステムコントローラ１００の構成について図７に基づいて説明すると、該システムコントローラ１００は、コンピュータ内部にてデータの送受を行うデータバス１０１に、該システムコントローラ１００が実施する後述する各種処理を行うＣＰＵ１０２、ワークメモリ等として使用されるＲＡＭ１０３、時刻情報やカレンダー情報を出力するＲＴＣ１０４、磁気ディスクや光磁気ディスクから成り、前記ＣＰＵ１０２が実施する各種処理内容が記述されたプログラムや後述する各種テーブル（データベース）を記憶するための記憶装置１０５、ファンクションメニュー等が独自に割り当てられた専用化されたキーボードである入力装置１０６、各種情報を表示出力する表示装置１０７、各種情報をプリント出力するプリンタ１０８、前記カードユニット３（カードリーダーライタ３２７）並びにカード発行機２３とのデータ通信を行う通信部１０９、新たに利用可能とする会員遊技者が所有するクレジットカードのクレジットカードＩＤや当該会員遊技者に対して発行済み或いは発行予定の会員カードの会員カードＩＤを読み取るためめのカードリーダー４１５が接続可能とされ、該カードリーダー４１５にて読み取られた各データを入力するための入力インターフェイス（Ｉ／Ｆ）１１０と、前記プリペイドカード会社に設けられた管理サーバ１２と電話回線を通じて双方向のデータ通信を可能とするためのデジタルサービスユニット（ＤＳＵ）１１１が接続された通常のコンピュータである。

40

【００４２】

50

また、前記CPU102は、前記記憶装置105に記憶されている処理プログラムに基づいて、当該遊技場において発行された遊技用記録媒体であるビジターカードに残存する度数等のビジターカードに関する情報の管理処理を実施する。

【0043】

さらに前記CPU102は、処理プログラムに基づいて、当該遊技場における各会員遊技者に関する情報とともに、各会員遊技者に既に発行済み或いは新たに発行しようとする会員用記録媒体である会員カードに関する情報の管理処理を実施する。

【0044】

さらに前記CPU102は、処理プログラムに基づいて、既に発行済み或いは新たに発行しようとする会員カードの会員カードIDに対応付けて、当該会員カードの所持者或いは所持予定者が所有するクレジットカードのクレジットカードIDを後述する会員情報テーブルに記憶する新規会員情報登録処理を実施する。

【0045】

さらに前記CPU102は、処理プログラムに基づいて、前記新規会員情報登録に際して、新規に利用登録するクレジットカードのクレジットカードIDと利用期限とを含む利用登録可否確認要求を管理サーバ12に送信する利用登録可否確認要求送信処理を実施する。

【0046】

さらに前記CPU102は、処理プログラムに基づいて、前記カードユニット3やカード発行機23から送信されてくる発行許諾要求に含まれる会員カードIDから当該会員カードを所持する会員遊技者の所有するクレジットカードのクレジットカードIDと利用期限とを特定し、該特定したクレジットカードIDと利用期限とを含む利用確認要求を管理サーバ12に対して送信する利用確認要求送信処理を実施する。

【0047】

さらに前記CPU102は、処理プログラムに基づいて、前記利用確認要求の送信に基づいて管理サーバ12から返信されてくる利用可能額データにより特定される金額が存在する場合に、ビジターカードの発行を許諾し、発行許諾要求を送信してきたカードユニット3またはカード発行機23に対し利用可能額データにより特定される金額である利用可能額の情報を含む発行許諾を返信する発行許諾返信処理を実施する。

【0048】

さらに前記CPU102は、処理プログラムに基づいて、カードユニット3またはカード発行機23にてビジターカードの発行に使用されたクレジット利用額の情報を含む利用情報を管理サーバ12に送信する利用情報送信処理等を実施する。

【0049】

また、前記記憶装置105には、これら各種処理を実施するための処理プログラムに加えて、図7に示す会員情報テーブルを含む各種テーブル（データベース）が記憶されている。

【0050】

まず、本発明の会員情報記憶管理手段を成す図7の会員属性情報テーブルには、各会員カードの会員ID毎に、各会員カードを個々に識別可能とするために各会員カードに固有に付与されて記録されている会員カードIDと、利用登録がある場合には各会員カードを所持する会員遊技者のクレジットカードのクレジットカードIDと、該クレジットカードの有効期限と、各会員遊技者が所有するその時点の貯蓄玉数と、本人確認のための暗証番号と、来店ポイント、並びに当該会員カードを所持する会員遊技者の氏名（名字並びに名前）、性別、年齢、誕生日、郵便番号、住所、電話番号等の各会員遊技者並びに会員カードに関する情報が対応付けて登録されている。

【0051】

また、記憶装置105には、当該遊技場にて発行されたビジターカードを管理するための図示しないカードマスターテーブルが記憶されており、該カードマスターテーブルには、ビジターカードのカードID毎に、当該ビジターカードを発行した処理装置を特定可能な

10

20

30

40

50

情報である前記カードユニット 3 或いは発行装置 2 3 に固有に付与された装置 ID と、該発行処理に供された発行額に相当する発行度数と、該発行度数から後述の貸出処理に使用された使用度数と、前記発行度数のうち未だ貸出処理に使用されていない残存度数等の各情報に対応付けて登録されていて、これらカードマスターテーブルに登録されている残存度数と対応するビジターカードに登録されている残存度数とが一致するように記憶、管理されている。

【 0 0 5 2 】

次いで、本実施例に用いた管理サーバ 1 2 の構成について図 9 に基づいて説明すると、該管理サーバ 1 2 は、コンピュータ内部にてデータの送受を行うデータバス 1 6 0 に、該管理サーバ 1 2 が実施する後述する各種処理を行う CPU 1 6 2、ワークメモリ等として使用される RAM 1 6 3、時刻情報やカレンダー情報を出力する RTC 1 6 4、磁気ディスクや光磁気ディスクから成り、前記 CPU 1 6 2 が実施する各種処理内容が記述されたプログラムや後述する各種テーブルやデータベースを記憶するための記憶装置 1 6 5、該管理サーバ 1 2 への入力や管理サーバ 1 2 の操作を実施する操作用端末 1 6 7 を接続するための端末用インターフェイス (I / F) 1 6 6、各クレジットカード会社やクレジットカード会社から管理委託を受けているデータセンターとの双方向のデータ通信を行うための通信装置 1 8 0 を接続するための通信部 1 6 9、予め管理登録された各登録遊技場に設置されている前記システムコントローラ 1 0 0 と電話回線を通じて双方向のデータ通信を可能とするためのデジタルサービスユニット (D S U) 1 6 1 が接続された比較的处理能力に優れたコンピュータである。

【 0 0 5 3 】

また、前記 CPU 1 6 2 は、前記記憶装置 1 6 5 に記憶されている処理プログラムに基づいて、予め管理登録された各登録遊技場において発行された遊技用記録媒体であるビジターカードの発行状況や該発行金額、各ビジターカードから遊技に使用された使用度数や各ビジターカードの残存度数等のビジターカードに関する情報に基づいてビジターカードの管理処理を実施する。

【 0 0 5 4 】

さらに前記 CPU 1 6 2 は、処理プログラムに基づいて、前記システムコントローラ 1 0 0 から利用確認要求を受信した際に、該利用確認要求に含まれるクレジットカード ID の利用可否を、クレジットカード管理データベース (D B) に記憶されている利用可能額に基づいて特定し確認するクレジット利用可否確認処理を実施する。

【 0 0 5 5 】

さらに前記 CPU 1 6 2 は、処理プログラムに基づいて、各登録遊技場における会員カードを所持或いは所持予定の会員遊技者が所有するクレジットカードの利用可否を判定可能な利用可否情報として、各クレジットカードの利用可能額を前記通信装置 1 8 0 を介して接続されている各クレジットカード会社 (データセンタ) から入手するクレジット情報入手処理を実施する。

【 0 0 5 6 】

さらに前記 CPU 1 6 2 は、処理プログラムに基づいて、各クレジットカード会社から 1 日に 1 回、各登録遊技場の営業開始前の所定時間帯において予め入手した利用可能額を各クレジットカードのクレジットカード ID に対応付けて後述するクレジットカード管理データベース (D B) に記憶、管理する利用可否情報記憶管理処理を実施する。

【 0 0 5 7 】

さらに前記 CPU 1 6 2 は、処理プログラムに基づいて、クレジット利用可否確認処理にて特定した利用可能額を特定可能な利用可能額データを利用確認結果情報 (利用可能額情報) としてシステムコントローラ 1 0 0 に送信する利用確認結果情報送信処理 (利用可能額情報送信処理) を実施する。

【 0 0 5 8 】

さらに前記 CPU 1 6 2 は、処理プログラムに基づいて、各登録遊技場に設けられたシステムコントローラ 1 0 0 から送信されてくる利用情報を受信して、該利用情報に基づく発

行履歴をカード発行履歴テーブルに登録することで各登録遊技場における利用情報を収集する利用情報収集処理を実施する。

【 0 0 5 9 】

さらに前記 C P U 1 6 2 は、処理プログラムに基づいて、前記利用情報収集処理にて収集した利用情報を前記通信装置 1 8 0 を介して接続されている各クレジットカード会社（データセンタ）に送信する利用情報送信処理を実施する。

【 0 0 6 0 】

さらに前記 C P U 1 6 2 は、処理プログラムに基づいて、各クレジットカード毎の所定期間（１ヶ月）のクレジット利用によるビジターカードの発行額である利用金額を集計してその月の合計利用金額である当月利用合計額を算出する利用金額集計処理を行う。

10

【 0 0 6 1 】

さらに前記 C P U 1 6 2 は、処理プログラムに基づいて、前記にて集計した当月利用合計額を予め定められた発行利用限度額とから差し引いて当月利用可能残額を算出し、該算出した当月利用可能残額と前記クレジット情報入手処理にて入手したクレジットカードの利用可能額とから、当該クレジットカードを所有する会員遊技者の利用可能額を特定する発行利用可能額特定処理を実施するとともに、該特定した利用可能額をシステムコントローラ 1 0 0 に対して送信（返信）する利用可能額情報送信処理を実施する。

【 0 0 6 2 】

さらに前記 C P U 1 6 2 は、処理プログラムに基づいて、前記システムコントローラ 1 0 0 からの利用登録可否確認要求の受信に基づいてクレジットカードの認証要求を前記通信装置 1 8 0 を介して接続されている各クレジットカード会社（データセンタ）に送信する認証要求送信処理を実施する。

20

【 0 0 6 3 】

さらに前記 C P U 1 6 2 は、処理プログラムに基づいて、前記認証要求送信処理における認証要求の送信に基づいて各クレジットカード会社（データセンタ）から返信されてくる認証結果に基づいてクレジットカードの認証可否を特定し、該特定した認証可否が認証可であるときに、当該クレジットカードの利用登録を可能とする旨を特定可能な利用登録確認情報をシステムコントローラ 1 0 0 に返信する利用登録確認情報送信処理等を実施する。

【 0 0 6 4 】

また、前記記憶装置 1 6 5 には、これらの各処理を実施するための処理プログラムに加えて、図 1 0 に示すクレジットカード管理データベースや、図 1 1 に示すカード発行履歴テーブルが記憶されている。

30

【 0 0 6 5 】

まず、本実施例のクレジットカード管理データベースには、図 1 0 に示すように、各登録遊技場において会員カードを所持或いは所持予定の会員遊技者が所有するクレジットカードのクレジットカード I D に対応付けて、各クレジットカードの有効期限や、１日に１回、各登録遊技場の営業開始前の所定時間帯において予め各クレジットカード会社（データセンタ）から入手した各クレジットカードの利用可能額や、各クレジットカード毎の所定期間（１ヶ月）のクレジット利用によるビジターカードの発行額である利用金額の集計金額である当月利用合計額や、該当月利用合計額を予め定められた発行利用限度額（本実施例では 5 0 0 0 0 円）から差し引いた金額である当月利用可能残額とが対応付けて記憶されている。

40

【 0 0 6 6 】

このように、本実施例では、各クレジットカードの利用可否を判定可能な利用可否情報としての各クレジットカードの利用可能額（例えば、クレジットカード I D が「 Z Z Z Z - y y y y - s s s s - t t t t 」のように、利用可能額が「 0 」であれば利用不可であると判定できる）を、予め各クレジットカード会社（データセンタ）から入手して前記クレジットカード管理データベースに記憶するようにしており、このようにすることは、その都度、クレジットカードの利用可能額をクレジットカード会社（データセンタ）から入手

50

する場合に比較して、クレジットカード管理データベースの記憶内容に基づいてクレジットカードの利用可否の確認を迅速に実施できるようになることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらクレジットカードの利用可否の確認を、確認の必要が生じる毎にクレジットカードの利用可能額をクレジットカード会社（データセンタ）から入手するようにしても良い。

【 0 0 6 7 】

また、本実施例のカード発行履歴テーブルには、図 1 1 に示すように、各登録遊技場に設置されているシステムコントローラ 1 0 0 から送信されてくる利用情報に基づいて、該利用情報に含まれる発行時刻、発行されたビジターカードのビジターカード I D、利用種別（貨幣による発行には「現金」が登録され、クレジットの利用による発行には「クレジット」が登録される）、クレジットカード I D（クレジット利用のみ）、発行金額、発行装置が登録されるとともに、該利用情報を送信してきたシステムコントローラ 1 0 0 が設置されている登録遊技場を個々に特定可能な遊技場 I D が発行遊技場に登録されることで、クレジットを利用してのビジターカードの発行を含む各登録遊技場におけるビジターカードの発行履歴が全て収集、管理されるとともに、利用種別に「クレジット」が登録されているクレジットを利用してのビジターカードの発行の場合には、該発行履歴におけるクレジットカード I D と発行金額（利用金額）とを含む利用情報をクレジットカード会社に送信することにより、該発行履歴に対応する利用情報送信の項目に「済み」が記憶されるようになっている。

【 0 0 6 8 】

尚、図 1 1 には本日分のカード発行履歴テーブルを示すが、前記記憶装置 1 6 5 には本日以前の所定期間（本実施例では 1 週間）のカード発行履歴テーブルが記憶、保持されている。

【 0 0 6 9 】

以下、本実施例の遊技用システムの処理状況について説明する。まず、クレジットカードの利用登録における処理状況を図 1 3、図 1 4、図 1 5 に基づいて説明する。会員遊技者が自分のクレジットカードをビジターカードの発行に使用したい場合には、自分のクレジットカードと発行済みである場合には会員カードとを店員に渡す。尚、新規に会員登録して会員カードの発行時にクレジットカードの利用登録を行う場合にはクレジットカードのみを渡す。

【 0 0 7 0 】

該クレジットカードと会員カード（発行済みの場合のみ）を受け取った店員は、まず、システムコントローラ 1 0 0 において図示しない新規クレジットカード利用登録メニューを選択し、表示装置 1 0 7 に図 1 4 に示す新規クレジットカード利用登録画面を表示させる。

【 0 0 7 1 】

該新規クレジットカード利用登録画面の表示に基づいて、システムコントローラ 1 0 0 に接続されているカードリーダー 1 1 5 に発行済みの会員カード或いは発行予定の会員カードとクレジットカードとを挿入することで、該挿入された会員カードに記録されている会員 I D と会員カード I D と、挿入されたクレジットカードに記録されているクレジットカード I D が読み取られて、新規クレジットカード利用登録画面に表示された会員 I D と会員カード I D 並びにクレジットカード I D に自動的に入力されるとともに、該読み取り後に会員カードとクレジットカードがカードリーダー 1 1 5 から自動排出される。

【 0 0 7 2 】

次いで、クレジットカードにエンボス加工により表記されている有効期限を新規クレジットカード利用登録画面のクレジットカード情報に設けられている有効期限に選択入力した後、該利用登録画面の下部位置に設けられている「登録」の選択入力部を選択入力する。

【 0 0 7 3 】

この「登録」の選択入力に基づいて、システムコントローラ 1 0 0 の C P U 1 0 2 は、新規クレジットカード利用登録画面に入力されたクレジットカード I D と利用期限とを含む

利用登録可否確認要求をプリペイドカード管理会社に設置されている管理サーバ１２に送信する。

【００７４】

該利用登録可否確認要求を受信に基づいて、管理サーバ１２のＣＰＵ１６２は、受信した利用登録可否確認要求に含まれるクレジットカードＩＤと利用期限とを含む認証要求を、クレジットカードＩＤから特定される当該クレジットカードを発行したクレジットカード会社（データセンタ）に対して送信する。

【００７５】

この認証要求を受信したクレジットカード会社（データセンタ）では、該認証要求に含まれるクレジットカードＩＤと利用期限とから該クレジットカードの認証を実施し、前記認証要求を送信してきた管理サーバ１２に該認証結果（認証可／認証不可）を返信する。

10

【００７６】

この認証結果の受信に基づいて、管理サーバ１２のＣＰＵ１６２は、受信した認証結果から認証の可否を特定し、認証可ならば前記利用登録可否確認要求に含まれるクレジットカードＩＤと当該クレジットカードの利用登録を可能とする旨を特定可能な利用登録確認情報を送信し、認証不可ならば前記利用登録可否確認要求に含まれるクレジットカードＩＤと当該クレジットカードの利用登録を不可とする旨を特定可能な利用登録不可情報を利用登録可否確認要求を送信してきたシステムコントローラ１００に対して返信する。

【００７７】

該管理サーバ１２からの利用登録確認情報の受信に基づいて、システムコントローラ１００のＣＰＵ１０２は、利用登録が可能であると断定し、前記新規クレジットカード利用登録画面に表示されている会員ＩＤと会員カードＩＤ並びにクレジットカードＩＤと利用期限とを、前記会員情報テーブルに会員ＩＤと会員カードＩＤが既に登録されている場合には、会員ＩＤと会員カードＩＤに対応付けてクレジットカードＩＤと利用期限を登録し、前記会員情報テーブルに会員ＩＤと会員カードＩＤが登録されていない場合には、会員ＩＤと会員カードＩＤ並びにクレジットカードＩＤと利用期限とを対応付けて記憶することで、システムコントローラ１００の表示装置１０７には、図１５に示す新規登録完了が表示されることで、店員は会員カードとクレジットカードとを会員遊技者に返却し、会員遊技者は、カードユニット３やカード発行機２３に会員カードを挿入することで、クレジットを利用したビジターカードの発行を受けることができるようになる。

20

30

【００７８】

尚、これら会員ＩＤと会員カードＩＤ並びにクレジットカードＩＤと利用期限とが新規に登録された場合には、暗証番号や該会員遊技者に関する情報を、図示しない会員情報登録画面から別途入力することで、該入力された暗証番号や会員情報が会員情報テーブルに登録される。

【００７９】

また、前記管理サーバ１２は、前記システムコントローラ１００に対して利用登録確認情報を返信した後、前記利用登録可否確認要求に含まれるクレジットカードＩＤと利用期限とを図１０に示すクレジットカード管理データベースに登録するとともに、該登録したクレジットカードの利用可能額を入手するために、該登録したクレジットカードＩＤを含む利用可能額入手要求をクレジットカード会社（データセンタ）に対して送信する。

40

【００８０】

そして、該利用可能額入手要求の送信に基づいてクレジットカード会社（データセンタ）から返信されてくる利用可能額を、前記送信した利用可能額入手要求に含まれるクレジットカードＩＤに対応するクレジットカード管理データベースの利用可能額に登録することで、予め利用可能額を入手して登録するとともに、当月利用合計額には「０」を登録し、当月利用可能残額には、発行利用限度額である５００００円を登録する。

【００８１】

尚、本実施例では、前述したように、認証要求と利用可能額入手要求とを個別にクレジットカード会社（データセンタ）に対して送信するようにしているが、本発明はこれに限定

50

されるものではなく、認証要求の送信に代えて利用可能額入手要求を送信し、該利用可能額入手要求に対して返信されてくる利用可能額が「0」であれば認証不可とし、利用可能額が「0」でなければ利用可として判断するようにしても良い。

【0082】

次いで、会員遊技者が会員カードを使用してビジターカードの発行を受ける場合の処理について、図12、図16に基づいて説明する。

【0083】

会員遊技者がカードユニット3 或いはカード発行機23 にてビジターカードの発行を受けたい場合には、前記カード挿入口319 または会員カード挿入口402 に会員カードを挿入するとともに、カードユニット3 の場合には発行ボタン316 を押圧操作すると、前記会員カード用表示部314 または表示部404 に暗証番号の入力を促す所定表示（図16 参照）が表示されることで、前記テンキー315 またはテンキー423 から暗証番号を入力すると、前記会員カード用表示部314 または表示部404 には照会中を示す表示が表示される（図16 参照）。

【0084】

尚、カードユニット3 において前記会員カードの挿入後に再プレイボタン317 を押圧操作した場合には、暗証番号の受付けによる照会が実施された後、貯玉を使用しての払戻処理が実施される。

【0085】

前記暗証番号の受付けに基づいて、カードリーダー327 またはカードリーダ413 により挿入された会員カードから読み取られた会員カードID と前記テンキー315 から入力された暗証番号とカードユニット3 またはカード発行機23 に個別に付与された装置ID とを含む発行許諾要求がシステムコントローラ100 に対して送信される。

【0086】

この発行許諾要求を受信したシステムコントローラは、該受信した発行許諾要求に含まれる会員カードID と暗証番号とが前記会員情報テーブルに記憶されている会員カードID と暗証番号とに一致するかを照合し、一致する場合には、会員情報テーブルにおいて会員カードID に対応付けて登録されているクレジットカードID と利用期限とを特定し、該特定したクレジットカードID と利用期限と遊技場ID とを含む利用確認要求を管理サーバ12 に対して送信する利用確認要求送信処理を実施する。

【0087】

この利用確認要求を受信した管理サーバ12 は、該受信した利用確認要求に含まれるクレジットカードID と利用期限とが前記クレジットカード管理データベースの記憶内容と一致するかを照合するとともに、一致する場合には、該クレジットカードID に対応して登録されている利用可能額が「0」でないか、つまり、「0」である場合には利用不可と判定し、「0」でない、具体的には本実施例では利用可能額の最少単位が1000円なので、少なくとも1000円以上の利用可能額が存在する場合には利用可能と判定することで、クレジットカードの利用可否を判定して確認するクレジット利用可否確認処理を実施する。

【0088】

そして、クレジットカード管理データベースにおいてクレジットカードID に対応付けて記憶されている利用可能額と当月利用可能残額とを比較し、当月利用可能残額がクレジットカード会社より入手した利用可能額以下であるときには該当月利用可能残額を特定可能な利用可能額データを、前記利用確認要求を送信してきたシステムコントローラ100 に対して利用確認結果情報並びに利用可能額情報として返信し、当月利用可能残額がクレジットカード会社より入手した利用可能額を上回るときには該クレジットカード会社より入手した利用可能額を特定可能な利用可能額データを、前記利用確認要求を送信してきたシステムコントローラ100 に対して利用確認結果情報並びに利用可能額情報として返信する。具体的に、図10 に示すクレジットカード管理データベースの登録内容を例に説明すると、クレジットカードID が「AAAA - BBBB - CCCC - DDDD」のクレジット

トカードの場合には、当月利用可能残額が20000円であって、クレジットカード会社より入手した利用可能額である22000円以下であることから、当月利用可能残額である20000円を特定可能な利用可能額データがシステムコントローラ100に対して送信され、クレジットカードIDが「NNNN-nnnn-GGGG-cccc」のクレジットカードの場合には、当月利用可能残額が47000円であって、クレジットカード会社より入手した利用可能額である30000円よりも上回ることから、このクレジットカード会社より入手した利用可能額である30000円を特定可能な利用可能額データがシステムコントローラ100に対して送信（返信）される。

【0089】

尚、本実施例では、返信される利用可能額情報である利用可能額データにより特定される金額が存在する場合には、当該クレジットカードの利用可否を特定可能であることから利用確認結果情報並びに利用可能額情報として利用可能額データのみを返信するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら利用可能額データとともにクレジットカードの利用可否の確認結果を特定可能な情報を返信するようしたり、利用可能額情報を送信しない場合には、クレジットカードの利用可否の確認結果を特定可能な情報のみを返信するようにしても良い。

【0090】

この利用確認結果情報並びに利用可能額情報としての利用可能額データを管理サーバ12から受信したシステムコントローラ100は、利用可能額データから特定した金額が「0」ではなく、存在する場合において発行を許諾し、発行許諾要求を送信してきたカードユニット3またはカード発行機23に対し利用可能額データにより特定される金額である利用可能額の情報を含む発行許諾を返信する。

【0091】

この発行許諾を受信したカードユニット3またはカード発行機23は、該発行許諾に含まれる利用可能額を特定し、該利用可能額を会員カード用表示部314または表示部404に表示する（図16参照）。尚、カードユニット3の会員カード用表示部314においては、利用可能額が該利用可能額に相当する度数として表示される。

【0092】

該会員カード用表示部314への利用可能額に相当する度数の表示に伴ってカードユニット3においては、利用可能額の範囲内の所定金額である1000円に相当する10度数をビジターカード装着口318に装着されているビジターカードに記録することでビジターカードの発行を実施した後、この記録した10度数の全てを使用して対応するパチンコ機2に対してパチンコ玉の貸出を実施させるクレジット発行貸出処理が実施されるとともに、ビジターカード装着口318に装着されているビジターカードのビジターカードIDと発行額と受け付け中の会員カードIDと装置IDとを含む発行情報がシステムコントローラ100に送信される。尚、システムコントローラ100では、これらカードユニット3からの発行情報の受信の場合には、該発行とともに該発行額が遊技に使用されたものと判断する。

【0093】

また、表示部404への利用可能額の表示（図16参照）に伴ってカード発行機23においては金額入力キー422からの発行額の入力受け付けが実施され、該入力された発行額が表示部404に表示されている利用可能額の範囲内である場合において、カードリーダー415にて新たに発行するビジターカードに記録されているビジターカードIDの読み取りが実施され、該ビジターカードに発行額に相当する大きさの度数データの書込が実施された後、該ビジターカードがカード発行口406から、会員カードが会員カード挿入口402から排出されるとともに、該ビジターカード並びに会員カードの排出が前記発行インジケータ407と会員カードインジケータ403の点滅点灯により報知され、該ビジターカードの発行に使用された金額と前記利用可能額から発行に使用された金額を差し引いた新たな利用可能額が印字されたレシートがプリンタ414にて印刷されてレシート排出口408から排出され、該レシートの発行がレシートインジケータ409の点滅点灯に

10

20

30

40

50

より報知される。

【 0 0 9 4 】

これらビジターカードの発行を実施した後、カード発行機 2 3 からは、発行したビジターカードのビジターカード I D と発行額と該発行に使用された会員カードの会員カード I D と装置 I D とを含む発行情報がシステムコントローラ 1 0 0 に送信される。

【 0 0 9 5 】

この発行情報を受信したシステムコントローラ 1 0 0 は、該発行情報に含まれるビジターカード I D と発行額と装置 I D とに基づいて、カードマスターテーブル（図示略）の記憶情報を更新することで、該発行されたビジターカードをカードユニット 3 の前記カード挿入口 3 1 9 に挿入して貸出処理を受けることができるようになるとともに、該発行情報に 10
含まれる会員カード I D と会員情報テーブルの記憶情報とに基づいて、該発行に使用された会員カードを所持する会員遊技者の所有するクレジットカードのクレジットカード I D を特定し、発行情報に含まれる会員カード I D に代えて該特定したクレジットカード I D を含むとともに、遊技場 I D と該発行の利用種別（クレジット）と発行情報を受信した時刻である発行時刻とが付加された利用情報を管理サーバ 1 2 に送信する利用情報送信処理等を実施する。

【 0 0 9 6 】

この利用情報の受信に基づいて管理サーバ 1 2 は、該利用情報に含まれる発行時刻とビジターカード I D と利用種別とクレジットカード I D と発行額と装置 I D と遊技場 I D とを 20
図 1 1 に示すカード発行履歴テーブル（本日分）に発行履歴として記憶することでクレジットの利用情報を収集する。更に、該発行額を、クレジットカード管理データベースにおいて当該発行履歴のクレジットカード I D に対応付けて記憶されている当月利用合計額に加算更新するとともに利用可能額から減算更新し、該加算更新後の当月利用合計額を発行利用限度額から減じた金額に当月利用可能額を更新する。

【 0 0 9 7 】

そして、このようにしてカード発行履歴テーブル（本日分）に収集した各発行履歴について、利用情報送信の項目に「済み」が登録されておらず利用種別に「クレジット」が登録されている発行履歴に関し、その発行履歴に含まれるクレジットカード I D と発行金額（利用金額）とを含む利用情報を、当該クレジットカード I D から特定されるクレジットカー 30
ド会社（データセンタ）に送信する利用情報送信処理を実施した後、該利用情報として送信した発行履歴に対応する利用情報送信の項目の登録内容を「済み」に更新する。

【 0 0 9 8 】

この利用情報を受信した各クレジットカード会社（データセンタ）では、該利用情報に含まれる発行金額（利用金額）の決済が、該利用情報に含まれるクレジットカード I D から特定されるクレジットカードの所有者が銀行口座を有する金融機関との間において実施される。

【 0 0 9 9 】

以上、本発明の実施例のようにすれば、遊技用記録媒体であるビジターカードの発行をクレジットカードにて実施する場合において、該クレジットカードの利用可否が、プリペイドカード会社に設置された管理サーバ 1 2 並びに通信装置 1 8 0 がクレジットカードの利 40
用可否情報である利用可能額を入手するクレジット情報入手手段として機能することで、プリペイドカード会社に設置された管理サーバ 1 2 が、これら入手した利用可能額に基づいてクレジットカードの利用可否を特定し、該特定した利用可否を特定可能な利用確認結果情報である利用可能額をビジターカードを発行する各登録遊技場に設置されたシステムコントローラ 1 0 0 に送信し、利用確認結果情報としての利用可能額から特定されるクレジットカードの利用可否が利用可能である、つまり利用可能額が「0」ではない場合において該利用可能額の範囲内の金額に相当するビジターカードが発行されることで、これらクレジットカードの利用確認が、既に各登録遊技場と接続されている遊技用記録媒体管理機関であるプリペイドカード会社を通じて実施されるようになるため、従来のように各ク 50
レジットカード会社と各遊技場とを個々に接続する場合に比較して、多大な費用を必要と

することがなくシステムを構築することができるばかりか、システムの運用に要する通信コストも低く抑えることができるとともに、これらプリペイドカード会社と各登録遊技場との間のデータ通信環境は、比較的高いセキュリティレベルに保たれているため、これらクレジットカードの利用に伴うセキュリティの確保に要するコストも抑えることもできる。

【0100】

また、会員遊技者は、クレジットを使用したビジターカードの発行に際してクレジットカードを一々遊技場に持参する必要がなく、会員遊技者の利便性を向上できるとともに、会員カードを使用することで、暗証番号による本人確認が実施されるようになるため、仮に本人以外の遊技者が拾った会員カードを用いてビジターカードの発行をすることも回避できるようになる。このように、暗証番号による本人確認の実施は、なりすましによる使用等を回避できるようになることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらクレジット使用によるビジターカードの発行に際して暗証番号による本人確認を実施しないようにしても良い。

10

【0101】

以上、本発明の実施形態を図面により前記実施例にて説明してきたが、本発明はこれら実施例に限定されるものではなく、本発明の主旨を逸脱しない範囲における変更や追加があっても本発明に含まれることは言うまでもない。

【0102】

例えば、前記実施例では、プリペイドカード会社に設置されている管理サーバ12から送信される利用確認結果情報としての利用可能額を、システムコントローラ100が中継して、カードユニット3やカード発行機23に利用可能額を含む発行許諾として送信するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらシステムコントローラ100を介さずに管理サーバ12から送信される利用確認結果情報である利用可能額が、カードユニット3やカード発行機23に直接送信されるようにしても良い。

20

【0103】

また、前記実施例においては、システムコントローラ100が会員用記録媒体である会員カードの管理を実施するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、システムコントローラ100に代えて、各会員遊技者が所有するクレジットカードのクレジットカードIDを含む会員遊技者並びに会員用記録媒体である会員カードに関する情報を個別のコンピュータ(会員管理コンピュータ)にて実施し、システムコントローラ100が該コンピュータ(会員管理コンピュータ)に対して、カードユニット3やカード発行機23からの発行許諾要求の受信時に、会員カードIDに対応するクレジットカードIDや利用期限を問い合わせる入手するようにしても良い。

30

【0104】

また、前記実施例では、会員用記録媒体である会員カードに、会員IDと会員用記録媒体特定情報としての会員カードIDとを記録するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらのいずれか一方のみを会員並びに会員用記録媒体を特定可能な情報として記憶するようにしても良い。

【0105】

また、前記実施例では、クレジットカード会社(データセンタ)からクレジットカードの利用可否を特定可能な利用確認結果情報としてのクレジットカードの利用可能額を入手し、該入手した利用可能額と前記当月利用可能額(図10参照)とから決定される利用可能額が、システムコントローラ100を介してカードユニット3やカード発行機23に送信されて、該利用可能額の範囲内の所定額に相当する大きさの度数が記録されたビジターカードが発行されるようになっていたが、本発明はこれに限定されるものではなく、前記管理サーバ12は、これらクレジットカードの利用可能額をクレジットカード会社(データセンタ)から入手せずに、クレジットカードの利用可否の情報のみを入手して、該クレジットカードの利用可否の情報をシステムコントローラ100を経由、或いはシステムコントローラ100を経由することなくカードユニット3やカード発行機23に送信するように

40

50

しても良い。

【0106】

また、前記実施例では、図10に示すクレジットカード管理データベースにおいて、各クレジットカード毎に当月利用合計額を集計するとともに、該集計した当月利用合計額を発行利用限度額である50000円から差し引いた金額である当月利用可能残額を算出し、該当月利用可能残額とクレジットカード会社（データセンタ）から入手した利用可能額の内、いずれか小さい方の金額を利用可能額としてシステムコントローラ100に送信するようにしており、このようにすることは、これら送信された利用可能額の範囲内の所定額に相当するビジターカードしか発行されないため、遊技用記録媒体管理機関であるプリペイドカード会社はクレジットカード会社（データセンタ）から入手した利用可能額とは個別にクレジットカードによるビジターカードの過度の発行利用を抑止することができることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら当月利用合計額の集計や発行利用限度額の設定による当月利用可能残額の算出、並びに該当月利用可能残額とクレジットカード会社（データセンタ）から入手した利用可能額との比較に基づく利用可能額の特定、送信を実施せずに、クレジットカード会社（データセンタ）から入手した利用可能額をシステムコントローラ100に送信することにより、これらクレジットカード会社（データセンタ）から入手した利用可能額に基づいたビジターカードの過度の発行利用を抑止するようにしても良い。

10

【0107】

また、前記実施例では、発行利用限度額を50000円としているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これを管理サーバ12の操作端末167において、適宜に設定変更できるようにしても良いし、更には、前月の利用合計額の実績から、各クレジットカード毎に発行利用限度額を個々に設定できるようにしても良い。

20

【0108】

また、前記実施例では、図16に示すようにカード発行機23の表示部404や、カードユニット3の会員カード用表示部314に前記管理サーバ12から送信され、システムコントローラ100にて中継された利用可能額が表示により報知されるようになっており、このようにすることは、遊技者は、自分がクレジットを利用してビジターカードの発行に使用できる利用可能額を確認することができることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら利用可能額の報知を音声等により報知するようにしても良いし、更には、これら利用可能額の表示（報知）を行わない構成としても良い。

30

【0109】

また、前記実施例では、管理サーバ12がクレジットを使用したビジターカードの発行履歴を含む各登録遊技場における発行履歴を、図11に示すカード発行履歴テーブルに収集、管理し、該収集した発行履歴の内、クレジットを使用したビジターカードの発行履歴を利用情報としてクレジットカード会社（データセンタ）に送信するようにしており、このようにすることは、クレジットカード会社に利用情報が遊技用記録媒体管理機関であるプリペイドカード会社を通じてクレジットカード会社（データセンタ）に送信されるようになるため、これら決済のための利用情報の収集のために、各登録遊技場とクレジットカード会社（データセンタ）とを個々に接続する必要がなく、システムの構築費用をより低減することができることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら利用情報を各登録遊技場からクレジットカード会社（データセンタ）に送信するようにしても良い。

40

【0110】

また、前記実施例では、新たなクレジット利用登録に際して、クレジットカード会社（データセンタ）への認証要求をプリペイドカード会社を通じて送信するようにしており、このようにすることは、これら新たな利用登録に伴う認証確認のために、各登録遊技場とクレジットカード会社（データセンタ）とを個々に接続する必要がなく、システムの構築費用をより低減することができることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら認証確認のための認証要求を各登録遊技場からクレジットカード会社（デー

50

タセンタ)に送信するようにしても良い。

【0111】

また、前記実施例では、カードユニット3とカード発行機23とを個別に設けているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらのいずれか一方のみを設けるようにしても良い。尚、カードユニット3のみを設ける場合においては、カード発行機23において実施していた1000円以上のビジターカードの発行を、カードユニット3において実施できる構成としても良い。

【0112】

また、前記実施例では、会員用記録媒体である会員カードや遊技用記録媒体であるビジターカードとして、いずれも非接触のICカードを用いているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これを磁気カードや接触型のICカードとしても良いし、バーコード等の所定の情報記録シンボル等が読み取り可能にプリントされた記録媒体等であっても良い。

【0113】

また、前記実施例に用いた会員カード、ビジターカードの形状はカード状とされているが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えばコイン形状、円盤形状や球状、チップ状等その他の形状とされていても良い。

【0114】

また、前記実施例のカードユニット3とカード発行機23では、貨幣を用いてもビジターカードの発行が可能とされており、このようにすることは、これら貨幣によるビジターカードの発行機を個別に設ける必要がなく、限られた遊技場のスペースやパチンコ機周囲のスペースを有効に活用でき、貨幣によるビジターカードの発行ユニットをパチンコ機2に対応して設ける場合、遊技場への設置台数が低減することを回避できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら貨幣による発行機能を有しない構成としても良い。

【0115】

また、前記実施例では、カードユニット3が、挿入された会員カードの貯玉を使用してパチンコ機2にパチンコ玉の払出(払戻)を実施させる貯玉の再プレイ機能を有しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら貯玉の再プレイ機能を有しないものであっても良い。

【0116】

また、前記実施例においては、遊技媒体としてパチンコ玉を用いる遊技機であるパチンコ機2を例に説明しているが、これら遊技媒体をコインや点数、更には画像式のパチンコ機やスロットマシン等における画像にて形成されたパチンコ玉やコイン等としても良く、これら遊技媒体は遊技において使用される媒体であれば、本発明の遊技媒体に含まれるものであり、その形態が限定されるものではない。

【0117】

また前記実施例では、遊技機であるパチンコ機2において使用される遊技用価値の形態として度数や該度数に相当する金額を用いているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら遊技用価値を所定のポイントや相当するパチンコ玉数やコイン数としても良く、その形態は任意に選択すれば良い。

【0118】

前記実施例における各要素は、本発明に対して以下のように対応している。

本発明の請求項1は、クレジットカード会社に接続された遊技用記録媒体管理機関に接続され、当該クレジットカード会社には直接接続されていない予め管理登録された登録遊技場において会員登録した会員遊技者が遊技を実施するための遊技用システムであって、前記登録遊技場において発行され、遊技に使用可能な遊技用価値(度数)の大きさを特定可能な遊技用価値特定情報(カードID)が記録された遊技用記録媒体(ビジターカード)の管理を行う前記遊技用記録媒体管理機関(プリペイドカード管理会社)に設けられ、前記会員登録者が所有するクレジットカードの利用可否を判定可能な利用可否情報(利用

10

20

30

40

50

可能額)を、当該クレジットカードを発行したクレジットカード会社より入手するためのクレジット情報入手手段(管理サーバ12、通信装置180)と、前記登録遊技場に設けられ、該登録遊技場において前記会員遊技者に対して発行される会員用記録媒体(会員カード)に記録される該会員用記録媒体(会員カード)を個々に特定可能な会員用記録媒体特定情報(会員カードID)と、当該会員用記録媒体(会員カード)の所有者が所有するクレジットカードを個々に識別可能なクレジットカード識別情報(クレジットカードID)と、当該会員用記録媒体を所有する会員遊技者が過去の遊技にて獲得することで払い戻し可能に所有する貯蓄遊技媒体数とを対応付けて記憶、管理する会員情報記憶管理手段(システムコントローラ100、会員情報テーブル)と、前記会員用記録媒体を受付け、該受付けた会員用記録媒体に記録されている前記会員用記録媒体特定情報に対応付けて前記
会員情報記憶管理手段に記憶されている貯蓄遊技媒体数のうちの所定数の遊技媒体の払い戻しを実施する払戻手段と、前記会員用記録媒体(会員カード)を受付け、該受付けた会員用記録媒体(会員カード)から前記会員用記録媒体特定情報(会員カードID)を読み取り、該読み取った会員用記録媒体特定情報(会員カードID)を送信するための会員用記録媒体処理手段(カードユニット3、カードリーダーライタ327)と、前記会員用記録媒体処理手段(カードユニット3、カードリーダーライタ327)から送信されてきた前記
会員用記録媒体特定情報(会員カードID)と前記会員情報記憶管理手段(システムコントローラ100、会員情報テーブル)の記憶情報とに基づいて、前記会員用記録媒体処理手段(カードユニット3、カードリーダーライタ327)にて受付けた会員用記録媒体(会員カード)の所有者が所有するクレジットカードのクレジットカード識別情報(クレジット
カードID)を特定し、該特定したクレジットカード識別情報(クレジットカードID)と当該クレジットカードの利用確認を要求する旨の情報とを少なくとも含むクレジットカードの利用確認要求を、前記遊技用記録媒体管理機関(プリペイドカード管理会社)に
対して送信する利用確認要求送信手段(システムコントローラ100、DSU111)と、前記遊技用記録媒体管理機関(プリペイドカード管理会社)に設けられ、前記利用確認要求送信手段(システムコントローラ100、DSU111)からの利用確認要求の受信に基づいて、当該利用確認要求に含まれるクレジットカード識別情報(クレジットカード
ID)から特定されるクレジットカードの利用可否を、前記クレジット情報入手手段(管理サーバ12、通信装置180)により入手した当該クレジットカードの利用可否情報(利用可能額)から特定して確認するクレジット利用可否確認手段(管理サーバ12;CPU169)と、該クレジット利用可否確認手段(管理サーバ12;CPU169)にて確
認されたクレジットカードの利用可否を特定可能な利用確認結果情報(利用可能額データ)を前記登録遊技場に送信する利用確認結果情報送信手段(管理サーバ12;DSU161)と、前記登録遊技場に設けられ、前記利用確認結果情報送信手段(管理サーバ12;DSU161)から送信されてくる利用確認結果情報(利用可能額データ)から特定される
クレジットカードの利用可否が利用可能であることに基づいて、所定金額に相当する遊技に使用可能な遊技用価値(度数)の大きさを特定可能な遊技用価値特定情報(カードID)が記録された遊技用記録媒体(ビジターカード)を発行する遊技用記録媒体発行手段(カードユニット3、カード発行機23)と、を備える。

【0119】

本発明の請求項2は、前記遊技用記録媒体管理機関(プリペイドカード管理会社)に設けられ、前記クレジット情報入手手段(管理サーバ12、通信装置180)によって予めクレジットカード会社より入手した前記利用可否情報(利用可能額)を記憶するとともに、該利用可否情報(利用可能額)を更新、管理するための利用可否情報記憶管理手段(管理サーバ12;CPU169、記憶装置165)を備え、前記クレジット利用可否確認手段(管理サーバ12;CPU169)は、前記利用可否情報記憶管理手段(管理サーバ12;CPU169、記憶装置165)に記憶されている利用可否情報(利用可能額)に基づいて利用可否を特定、確認する。

【0120】

本発明の請求項3は、前記遊技用記録媒体管理機関(プリペイドカード管理会社)に設け

10

20

30

40

50

られ、クレジットカードの利用可能額をクレジットカード会社より入手する利用可能額入手手段（管理サーバ１２、通信装置１８０）と、前記クレジット利用可否確認手段（管理サーバ１２；ＣＰＵ１６９）における確認結果が利用可であるときに、前記利用可能額入手手段（管理サーバ１２、通信装置１８０）によって入手した利用可能額を特定可能な利用可能額情報（利用可能額データ）を前記登録遊技場に送信するための利用可能額情報送信手段（管理サーバ１２；ＤＳＵ１６１）と、を備え、前記遊技用記録媒体発行手段（カードユニット３、カード発行機２３）は、前記利用可能額情報送信手段（管理サーバ１２；ＤＳＵ１６１）から送信されてきた利用可能額情報（利用可能額データ）から特定される利用可能額の範囲内の所定額に相当する大きさの遊技用価値（度数）を特定可能な遊技用価値特定情報（カードＩＤ）が記録された遊技用記録媒体（ビジターカード）を発行する。

10

【０１２１】

本発明の請求項４は、前記遊技用記録媒体管理機関（プリペイドカード管理会社）に設けられ、前記遊技用記録媒体発行手段（カードユニット３、カード発行機２３）において遊技用記録媒体（ビジターカード）の発行に供された利用金額を各クレジットカード毎に集計するための利用金額集計手段（システムコントローラ１００、管理サーバ１２；クレジットカード管理ＤＢ）と、該利用金額集計手段（システムコントローラ１００、管理サーバ１２；クレジットカード管理ＤＢ）にて集計された所定期間（１ヶ月）における合計利用金額（当月利用合計額）と該所定期間において会員遊技者が利用可能として設定された発行利用限度額（５００００円）とから、各時点における発行利用可能額（当月利用可能残額）を特定する発行利用可能額特定手段（管理サーバ１２；ＣＰＵ１６９）と、を備え、前記利用可能額情報送信手段（管理サーバ１２；ＤＳＵ１６１）は、前記発行利用可能額特定手段（管理サーバ１２；ＣＰＵ１６９）にて特定した発行利用可能額（当月利用可能残額）がクレジットカード会社より入手した利用可能額以下であるときには該発行利用可能額（当月利用可能残額）を特定可能な利用可能額情報（利用可能額データ）を前記登録遊技場に送信し、前記発行利用可能額特定手段（管理サーバ１２；ＣＰＵ１６９）にて特定した発行利用可能額（当月利用可能残額）がクレジットカード会社より入手した利用可能額を上回るときには該利用可能額を特定可能な利用可能額情報（利用可能額データ）を前記登録遊技場に送信する。

20

【０１２２】

本発明の請求項５は、前記遊技用記録媒体発行手段（カードユニット３、カード発行機２３）は、前記利用可能額情報送信手段（管理サーバ１２；ＤＳＵ１６１）より送信されてくる利用可能額情報（利用可能額データ）から特定される利用可能額を報知する利用可能額報知手段（会員カード用表示部３１４、表示部４０４）を含む。

30

【０１２３】

本発明の請求項６は、前記遊技用記録媒体管理機関（プリペイドカード管理会社）に設けられ、前記遊技用記録媒体発行手段（カードユニット３、カード発行機２３）において遊技用記録媒体（ビジターカード）の発行に供された利用金額と該遊技用記録媒体（ビジターカード）の発行に供された会員用記録媒体（会員カード）の会員用記録媒体特定情報（会員カードＩＤ）から特定されるクレジットカード識別情報（クレジットカードＩＤ）とを含む利用情報を収集するための利用情報収集手段（システムコントローラ１００、管理サーバ１２；カード発行履歴テーブル）と、該利用情報収集手段（システムコントローラ１００、管理サーバ１２；カード発行履歴テーブル）にて収集された利用情報をクレジットカード会社へ送信するための利用情報送信手段（管理サーバ１２、通信装置１８０）と、を備える

40

【０１２４】

本発明の請求項７は、前記登録遊技場に設けられ、該登録遊技場にて発行済みの会員用記録媒体（会員カード）或いは新たに発行しようとする会員用記録媒体（会員カード）に記録された前記会員用記録媒体特定情報（会員カードＩＤ）と、前記発行済みの会員用記録媒体（会員カード）の所有者或いは新たに発行しようとする会員用記録媒体（会員カード

50

）の所有予定者が所有するクレジットカードのクレジットカード識別情報（クレジットカードＩＤ）とを入力するための登録情報入力手段（カードリーダー１１５）と、該登録情報入力手段（カードリーダー１１５）から入力されたクレジットカード識別情報（クレジットカードＩＤ）とクレジットカード識別情報（クレジットカードＩＤ）から特定されるクレジットカードの利用登録の可否確認を要求する旨の情報とを少なくとも含む利用登録可否確認要求を前記遊技用記録媒体管理機関（プリペイドカード管理会社）に送信するための利用登録可否確認要求送信手段（システムコントローラ１００；ＤＳＵ１１１）と、前記遊技用記録媒体管理機関（プリペイドカード管理会社）に設けられ、前記利用登録可否確認要求送信手段（システムコントローラ１００；ＤＳＵ１１１）からの利用登録可否確認要求の受信に基づいて、該受信した利用登録可否確認要求に含まれるクレジットカード識別情報（クレジットカードＩＤ）と該クレジットカード識別情報（クレジットカードＩＤ）から特定されるクレジットカードの認証を要求する旨の情報を含む認証要求を、当該クレジットカードを発行したクレジットカード会社に対して送信する認証要求送信手段（管理サーバ１２、通信装置１８０）と、該認証要求送信手段（管理サーバ１２、通信装置１８０）からの認証要求の送信に基づいてクレジットカード会社から返信されてくる認証結果に基づいて当該クレジットカードの認証可否を特定し、該特定した認証可否が認証可であるときに、当該クレジットカードの利用登録を可能とする旨を特定可能な利用登録確認情報を、前記利用登録可否確認要求を送信してきた登録遊技場に対して返信する利用登録確認情報送信手段（管理サーバ１２；ＤＳＵ１６１）と、前記登録遊技場に設けられ、前記利用登録確認情報送信手段（管理サーバ１２；ＤＳＵ１６１）からの利用登録確認情報の受信に基づいて、前記登録情報入力手段（カードリーダー１１５）から入力された会員用記録媒体特定情報（会員カードＩＤ）とクレジットカード識別情報（クレジットカードＩＤ）とを対応付けて前記会員情報記憶管理手段（システムコントローラ１００、会員情報テーブル）に新たに登録させるための新規会員情報登録手段（システムコントローラ１００、ＣＰＵ１０２）と、を備える。

【０１２５】

【発明の効果】

本発明は次の効果を奏する。

（ａ）請求項１の発明によれば、遊技用記録媒体の発行をクレジットカードにて実施する場合において、該クレジットカードの利用可否が、前記クレジットカード情報入手手段によりクレジットカード会社より入手した当該クレジットカードの利用可否情報に基づいて、遊技用記録媒体管理機関に設けられたクレジットカード利用可否確認手段にて特定されて、該利用可否を特定可能な利用確認結果情報が遊技用記録媒体を発行する各登録遊技場に送信され、該利用確認結果情報から特定されるクレジットカードの利用可否が利用可能である場合に遊技用記録媒体が発行されることで、これらクレジットカードの利用確認が、既に各登録遊技場と接続されている遊技用記録媒体管理機関を通じて実施されるようになるため、システムの構築に際して従来のような多大な費用を必要とすることがない。

【０１２６】

（ｂ）請求項２の発明によれば、利用確認要求の受信毎に利用可否情報をクレジットカード会社より入手する場合に比較して、クレジットカードの利用可否の確認を迅速化することができる。

【０１２７】

（ｃ）請求項３の発明によれば、各クレジットカードの利用可能額の範囲内の所定額に相当する遊技用記録媒体しか発行されないため、クレジットカードによる遊技用記録媒体の過度の発行利用を抑止することができる。

【０１２８】

（ｄ）請求項４の発明によれば、予め定められた所定期間において会員遊技者が利用可能な発行利用限度額を設定しておくことで、該発行利用限度額と所定期間における合計利用金額とから特定される発行利用可能額が、前記クレジットカード会社より入手した利用可能額以下である場合には、該発行利用可能額を特定可能な利用可能額情報が遊技場に送信

10

20

30

40

50

されて、該発行利用可能額の範囲内の所定額に相当する遊技用記録媒体しか発行されないため、遊技用記録媒体管理機関はクレジットカードの利用可能額とは個別にクレジットカードによる遊技用記録媒体の過度の発行利用を抑止することができる。

【 0 1 2 9 】

(e) 請求項 5 の発明によれば、遊技者は、自分がクレジットを利用して遊技用記録媒体の発行に使用できる利用可能額を確認することができる。

【 0 1 3 0 】

(f) 請求項 6 の発明によれば、クレジットカード会社に利用金額とクレジットカード識別情報とを含む利用情報が遊技用記録媒体管理機関を通じてクレジットカード会社へ送信されるようになるため、これら決済のための利用情報の収集のために、各遊技場とクレジットカード会社とを個々に接続する必要がなく、システムの構築費用をより低減することができる。

10

【 0 1 3 1 】

(g) 請求項 7 の発明によれば、新たなクレジットカードの利用を希望する会員の登録における認証確認も、遊技用記録媒体管理機関を通じて実施されるようになるため、これら新たな利用登録に伴う認証確認のために、各遊技場とクレジットカード会社とを個々に接続する必要がなく、システムの構築費用をより低減することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施例における遊技用システムの構成を示す図である。

【図 2】本発明の実施例において用いたパチンコ機並びにカードユニットの正面図である。

20

【図 3】本発明の実施例に用いたカードユニットの構成を示すブロック図である。

【図 4】本発明の実施例に用いたカード発行機を示す外観斜視図である。

【図 5】本発明の実施例に用いたカード発行機に設けられた操作部を示す前面図である。

【図 6】本発明の実施例に用いたカード発行機の構成を示すブロック図である。

【図 7】本発明の実施例に用いた各遊技場に設置されたシステムコントローラの構成を示すブロック図である。

【図 8】本発明の実施例に用いた各遊技場に設置されたシステムコントローラにおけるカード管理 DB を構成する会員属性情報テーブルの登録状況を示す図である。

【図 9】本発明の実施例に用いたカード管理会社に設置された管理サーバの構成を示すブロック図である。

30

【図 10】本発明の実施例に用いたカード管理会社に設置された管理サーバにおけるクレジットカード管理データベース (DB) の構成を示す図である。

【図 11】本発明の実施例に用いたカード管理会社に設置された管理サーバにおけるカード発行履歴テーブル (本日分) の構成を示す図である。

【図 12】本発明の実施例を構成する各機器のカード発行における処理状況を示す図である。

【図 13】本発明の実施例において新規にクレジットカード利用登録を行う際の処理状況を示す図である。

【図 14】本発明の実施例において新規にクレジットカード利用登録を行う際にシステムコントローラの表示に装置に表示される新規クレジットカード利用登録画面を示す図である。

40

【図 15】本発明の実施例において新規にクレジットカード利用登録の完了時にシステムコントローラの表示に装置に表示される新規登録完了画面を示す図である。

【図 16】本発明の実施例に用いたカード発行機の操作部に設けられた表示部の表示状況を示す図である。

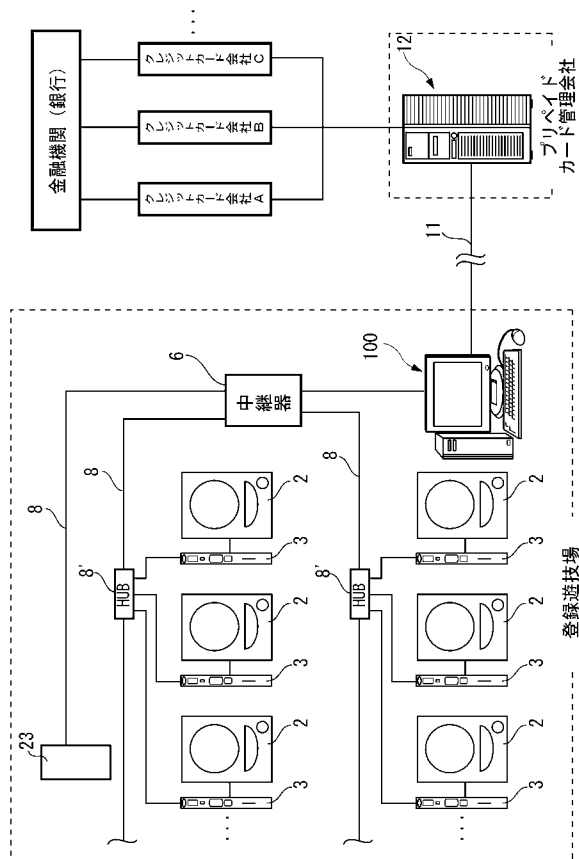
【符号の説明】

- 3 カードユニット
- 1 2 管理サーバ
- 2 3 カード発行機

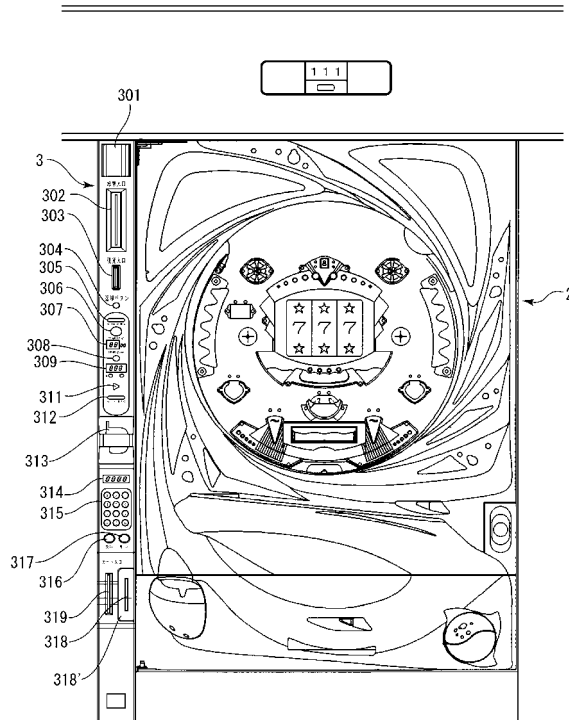
50

- | | |
|-------|------------|
| 1 0 0 | システムコントローラ |
| 1 1 5 | カードリーダー |
| 1 6 5 | 記憶装置 |
| 1 8 0 | 通信装置 |
| 3 1 4 | 会員カード用表示部 |
| 3 2 7 | カードリーダーライタ |
| 4 0 4 | 表示部 |

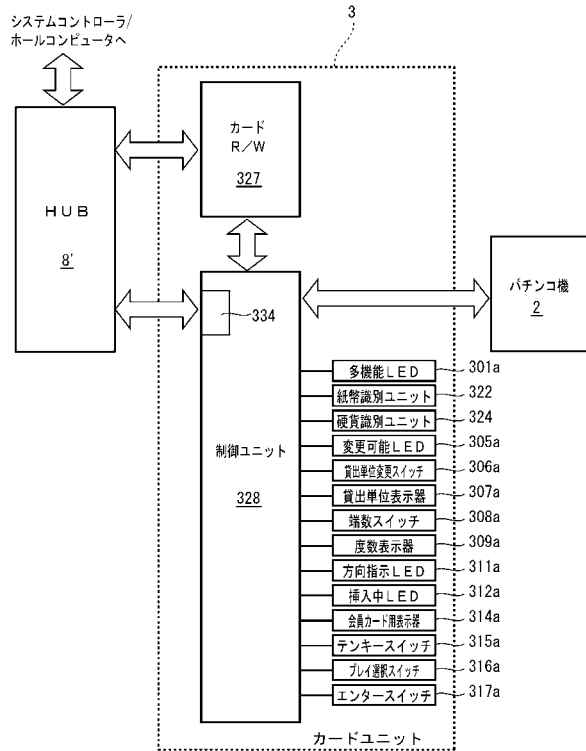
【 図 1 】



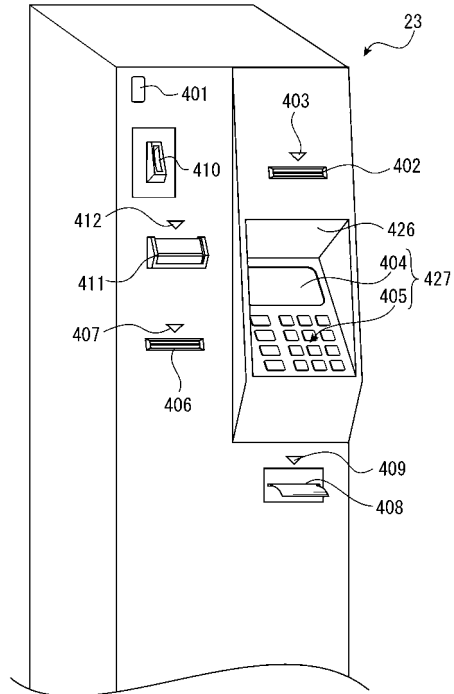
【 図 2 】



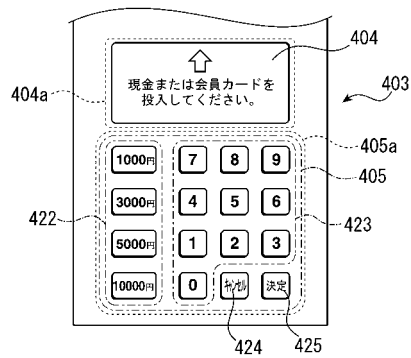
【図 3】



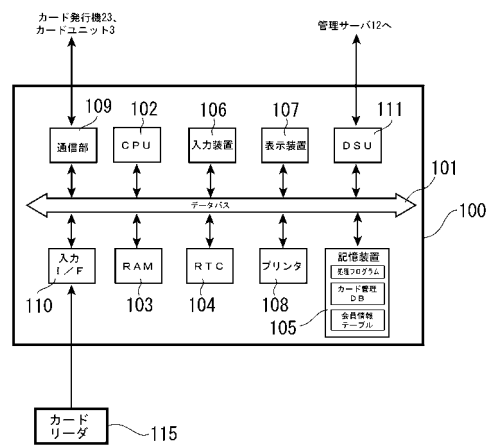
【図 4】



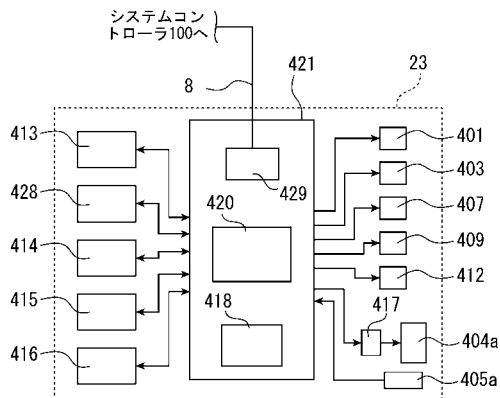
【図 5】



【図 7】



【図 6】

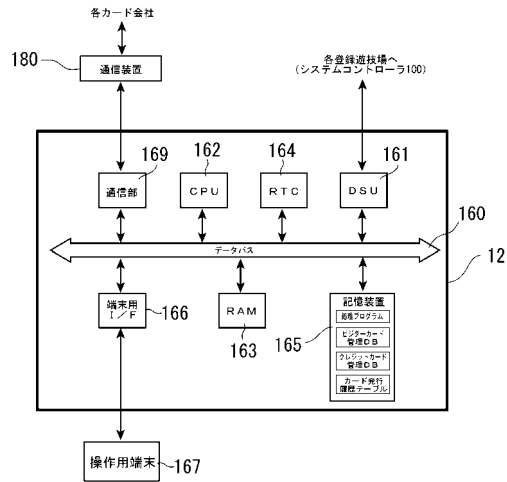


【図 8】

会員情報テーブル

会員ID	会員カードID	クレジットカードID	有効期限	暗証番号	氏名	性別	年齢	誕生日	住所
0001-01-00001	KC-XXXXXXXXXXXXXXXXXX1	AAAA-9888-CCCC-2000	XX/YY	940	太郎 花子	男性	25	5/6	東京都...
0001-01-00002	KC-XXXXXXXXXXXXXXXXXX2	NNNN-nnnn-6666-cccc	XX/YY	405	次郎 花子	女性	35	12/11	千葉県...
...
0001-01-0000N	KC-XXXXXXXXXXXXXXXXXXN	-	-	1102	太郎 花子	男性	33	06/22	東京都...
...

【図 9】



【図 10】

クレジットカード管理DB

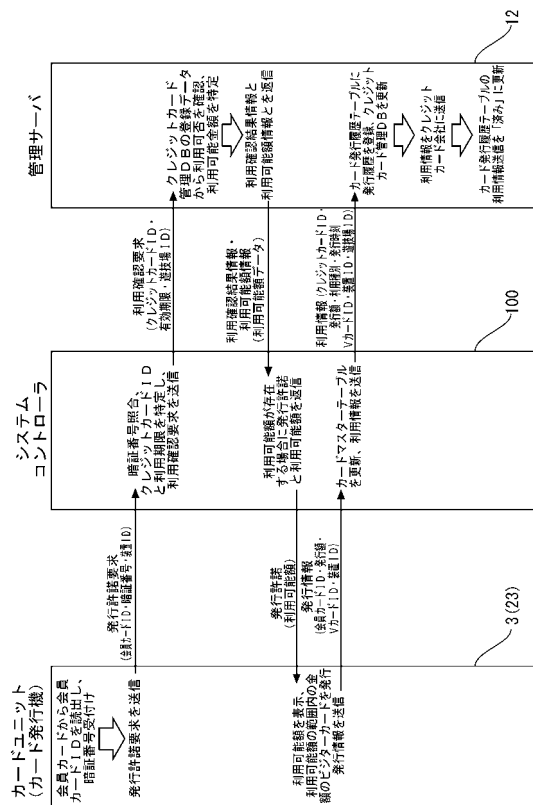
クレジットカードID	有効期限	利用可能額	当月利用可能残額	当月利用可能残額
AAAA-9888-CCCC-DDDD	05/04	22000	30000	20000
NNNN-nnnn-6666-cccc	02/03	30000	3000	47000
...
ZZZZ-yyyy-ssss-tttt	08/03	0	35000	15000
...

【図 11】

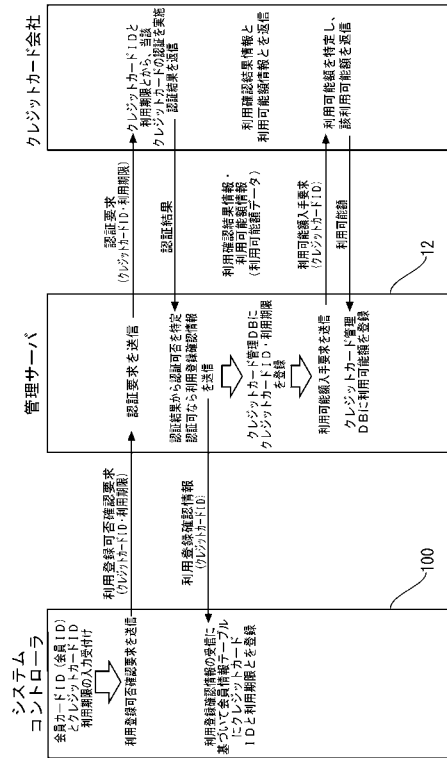
カード発行履歴テーブル (本日分)

発行時刻	ビザカードID	利用種別	クレジットカードID	発行金額	処理装置	発行遊技場	利用情報送信
10:01:11	VC-XXXXXXXXXXXXXXXXXX1	現金	-	3000	HS-01	TH-00001	...
10:01:15	VC-XXXXXXXXXXXXXXXXXX2	クレジット	bbbb-nnnn-cccc-eeee	5000	HS-01	TH-0000N	済み
10:01:17	VC-XXXXXXXXXXXXXXXXXX3	クレジット	AAAA-9888-CCCC-2000	1000	CU-0034	TH-00001	済み
...

【図 12】



【図 13】



【図 14】

Ver 1.0 新規クレジットカード利用登録 営業中

会員カード情報

会員ID 0001-01-000000

会員カードID KC-XXXXXXXXXXXXXXXXXX

クレジットカード情報

クレジットカードID 7777-0000-XXXX-XXXX

有効期限 05月 / 2006年

登録

【図 15】

Ver 1.0 新規クレジットカード利用登録 営業中

新規登録完了

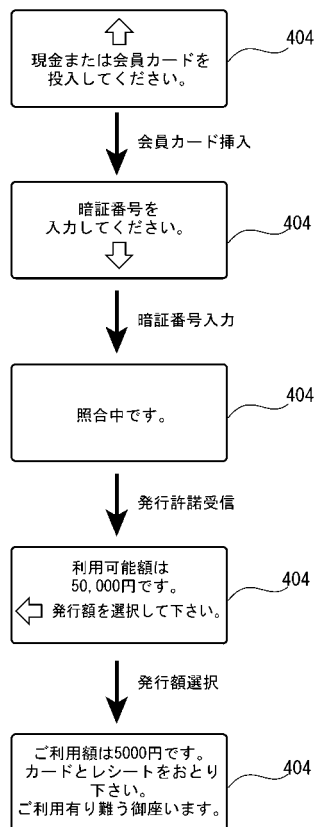
会員ID : 0001-01-000000

会員カードID : KC-XXXXXXXXXXXXXXXXXX

クレジットカードID : 7777-0000-XXXX-XXXX

有効期限 : 05月 / 2006年

【図 16】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開平 0 8 - 0 0 7 0 0 1 (J P , A)
特開平 1 0 - 0 0 5 4 1 5 (J P , A)
特開 2 0 0 2 - 2 9 2 0 7 5 (J P , A)
特開平 1 0 - 3 2 8 3 8 8 (J P , A)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

G06Q 10/00 - 50/00
A63F 7/02
G07F 7/08
G07F 7/12